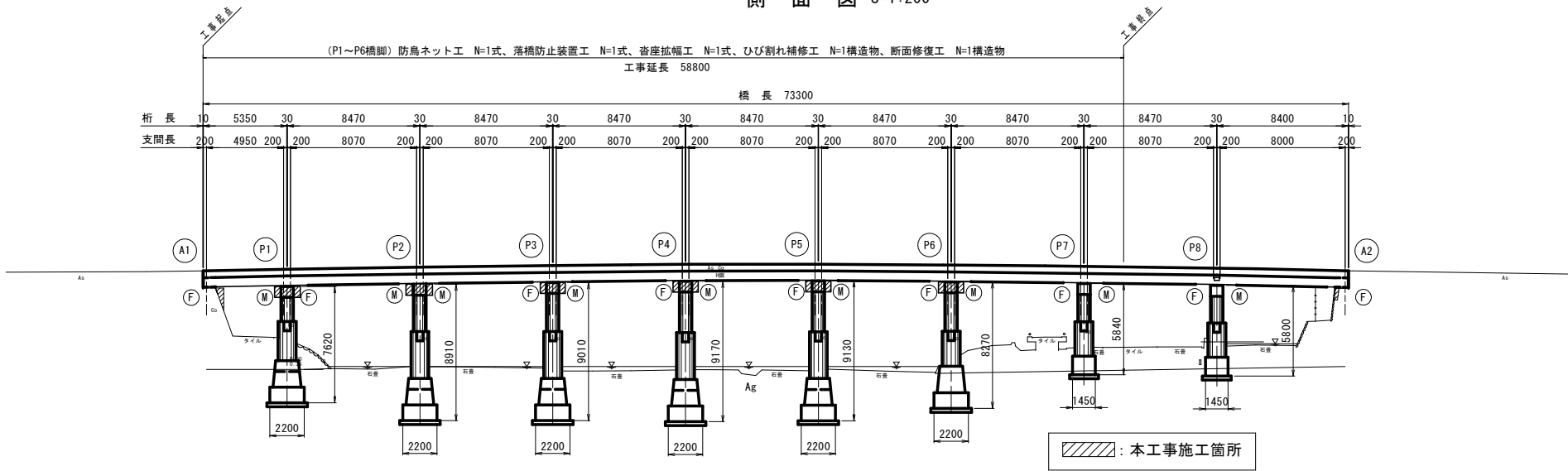
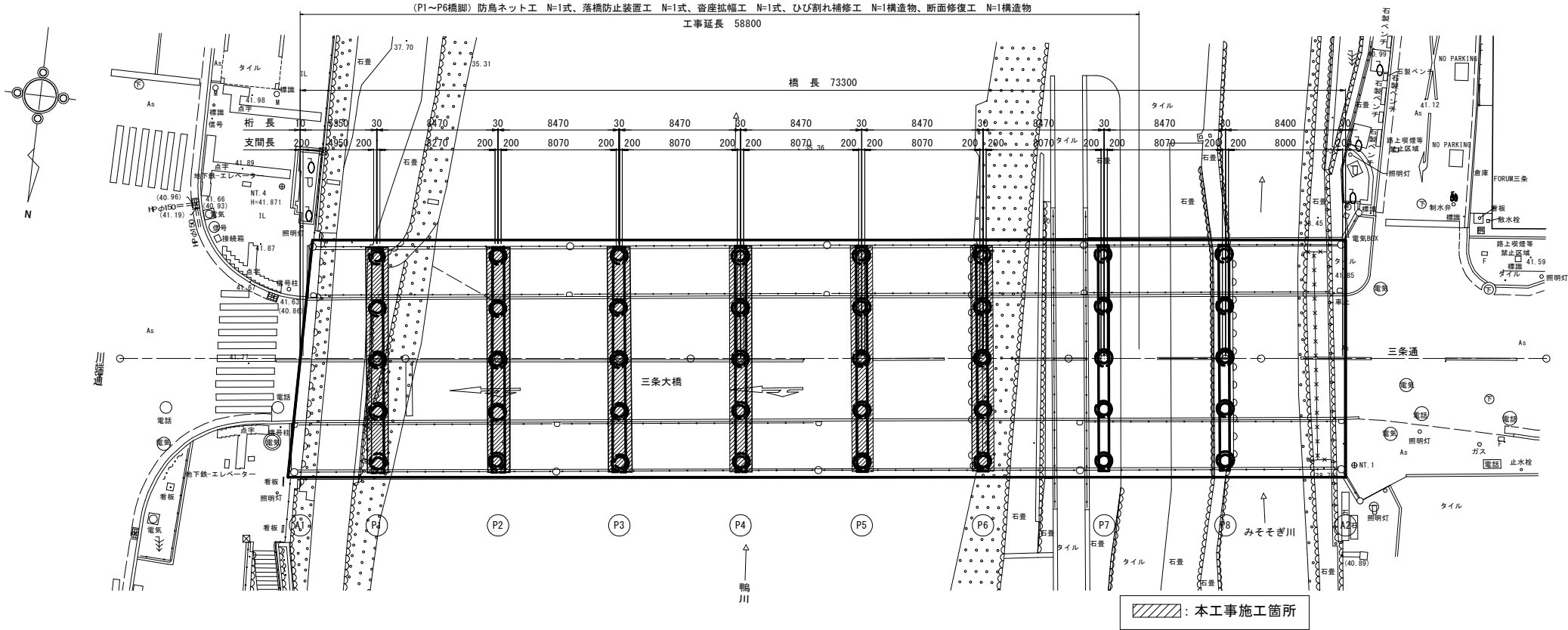


三条大橋 補修・補強一般図

側面図 S=1:200



平面図 S=1:200

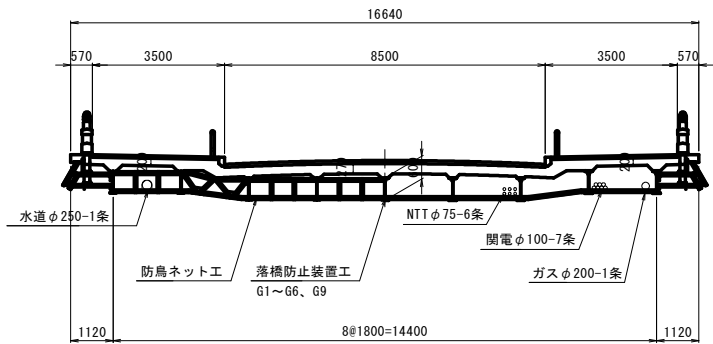


橋梁諸元

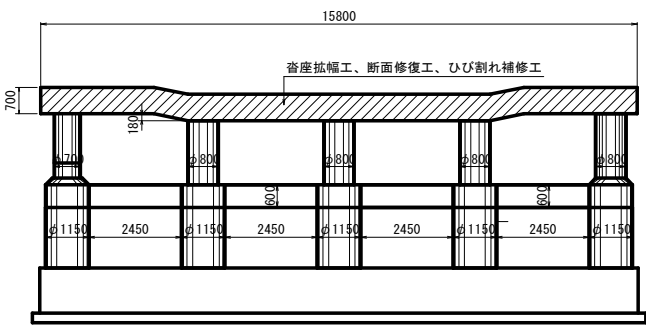
路線名	市道三条通
河川名	一級河川 鴨川
橋名	三条大橋
橋長	73.300m
桁長	5.350m+7@8.470m+8.400m
支間長	4.950m+7@8.070m+8.000m
有効幅員	3.500m+8.500m+3.500m
添架物	NTTケーブルφ75×6条、関電φ100×7条 大阪ガスφ200、水道φ250
架設年次	1950年(昭和25年)

上部工正面図 S=1:100

(端支点部) (支間中央部)

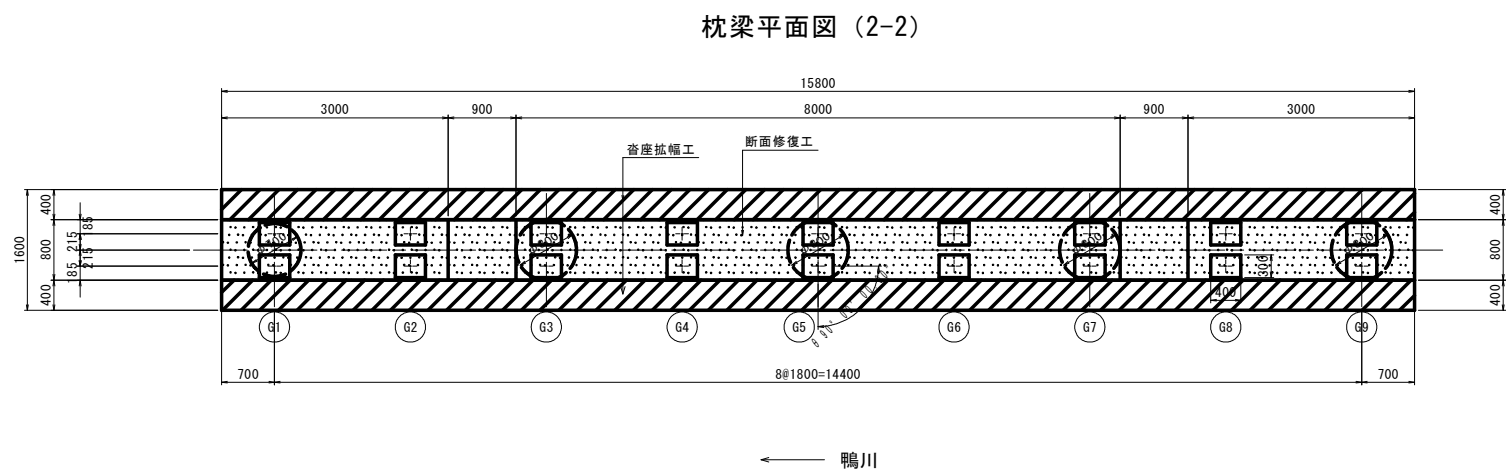
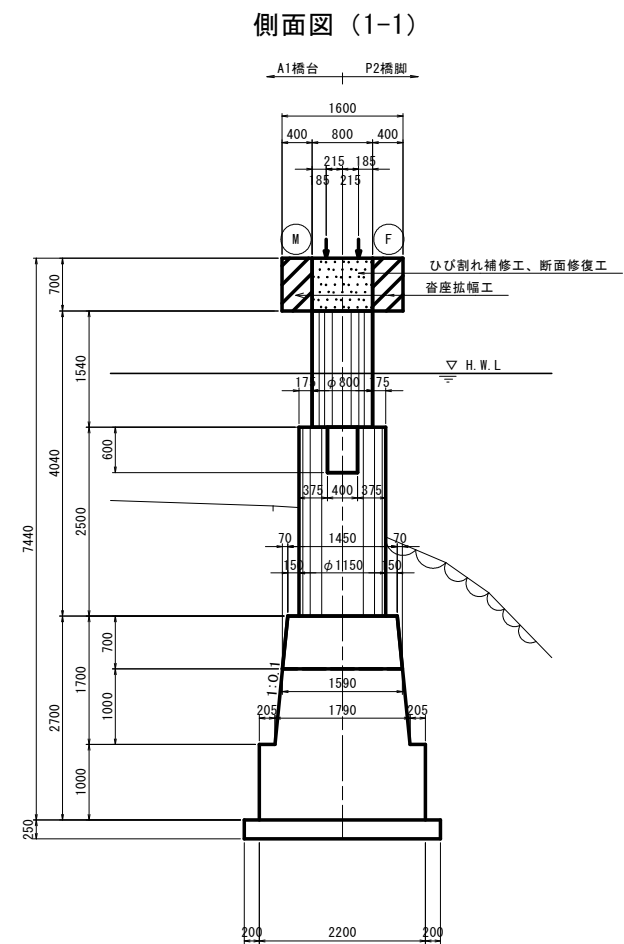
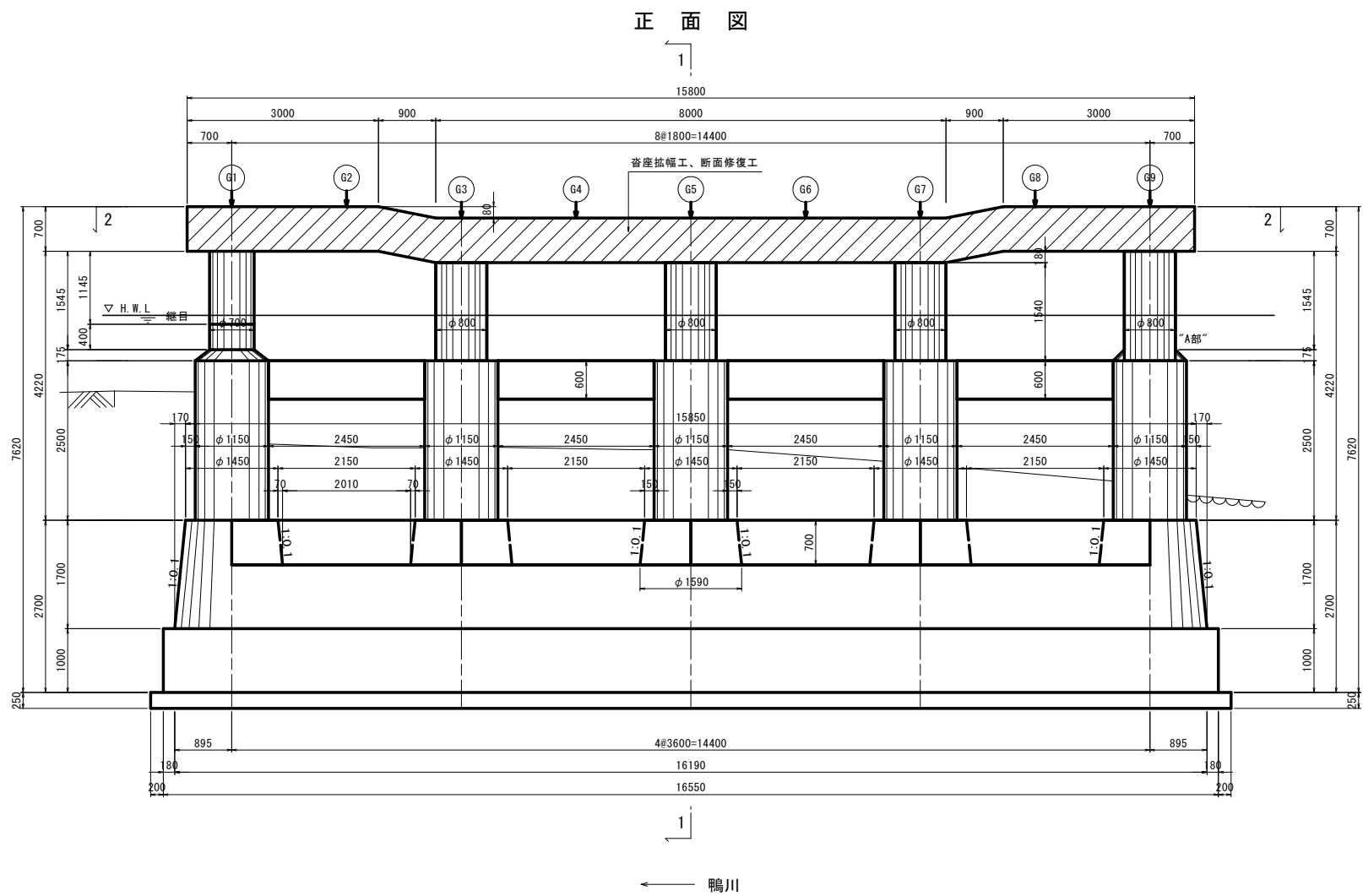


橋脚正面図 S=1:100



工事名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)		
工事場所	京都市東山区大橋町地内		
図面名	三条大橋 補修・補強一般図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	1 / 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

P1橋脚補修・補強一般図

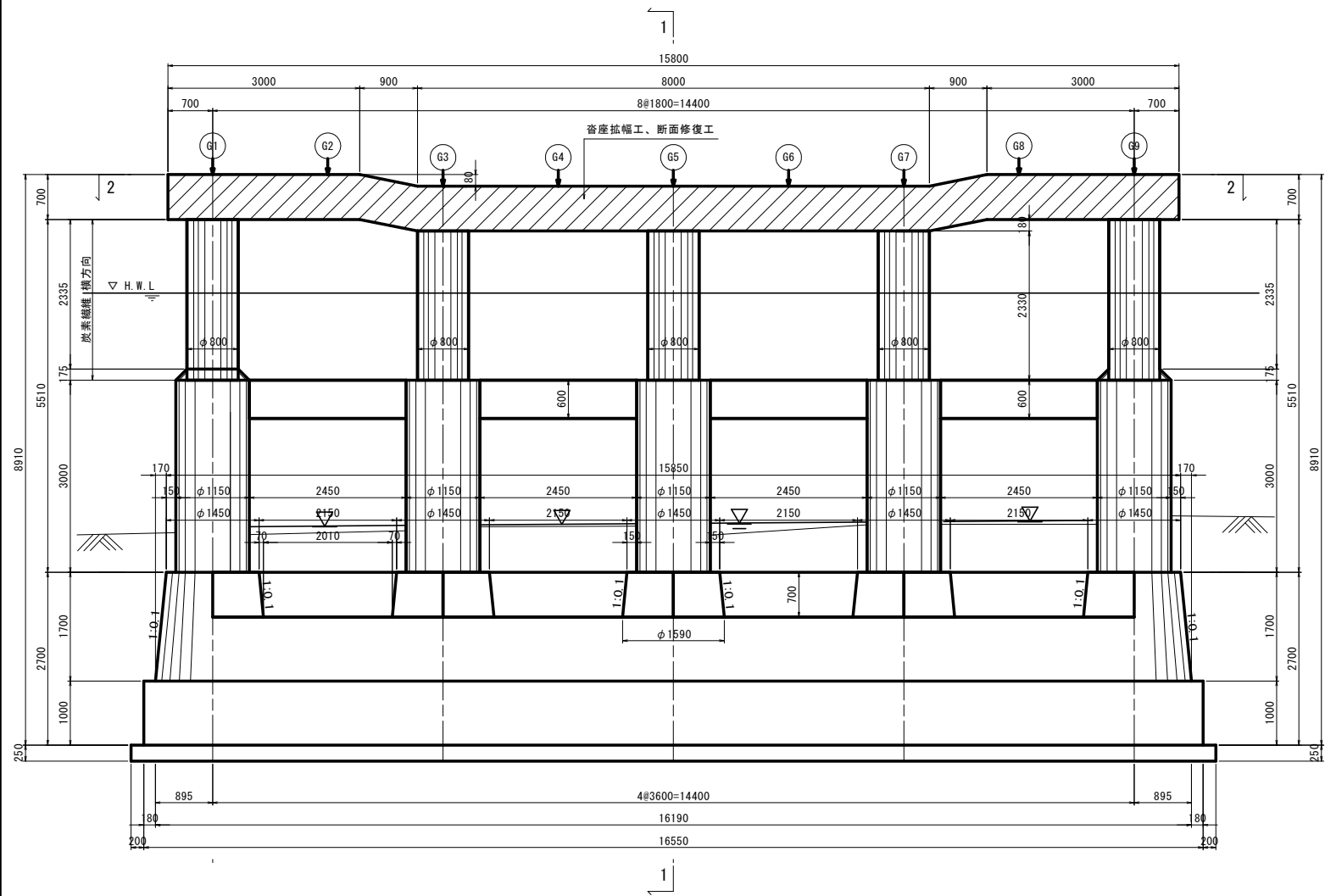


注 記
・施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

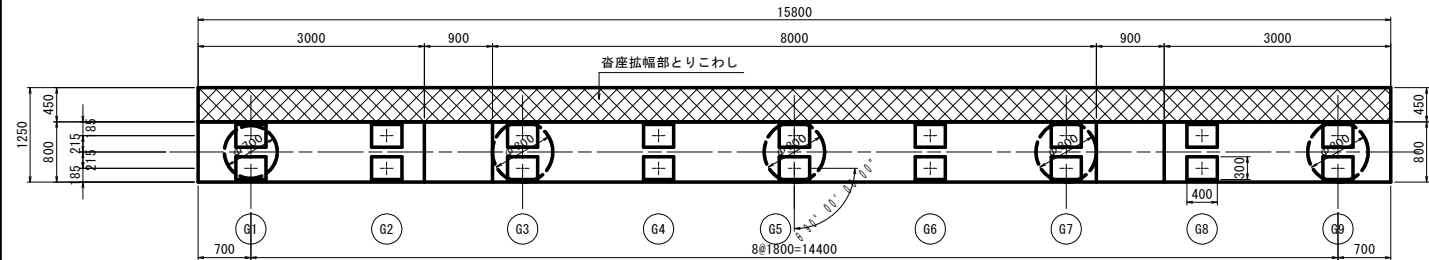
工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	P1橋脚補修・補強一般図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	S=1:50	図面番号	2 / 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

P2橋脚補修・補強一般図

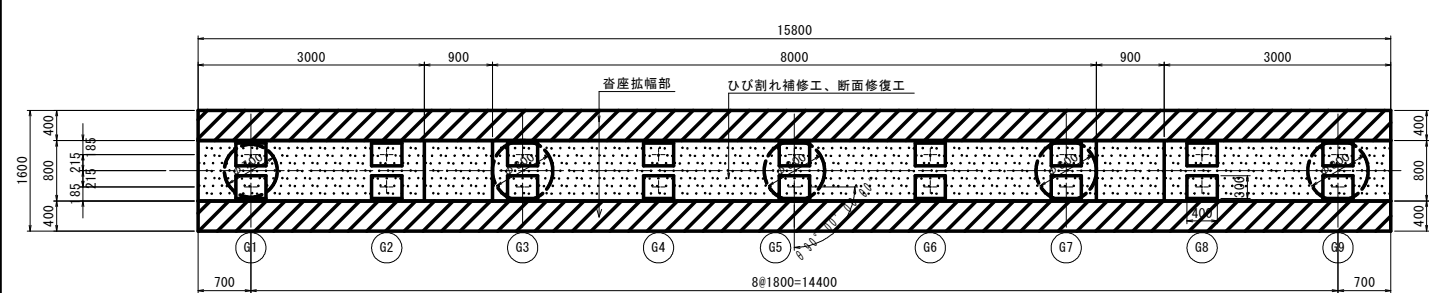
正面図



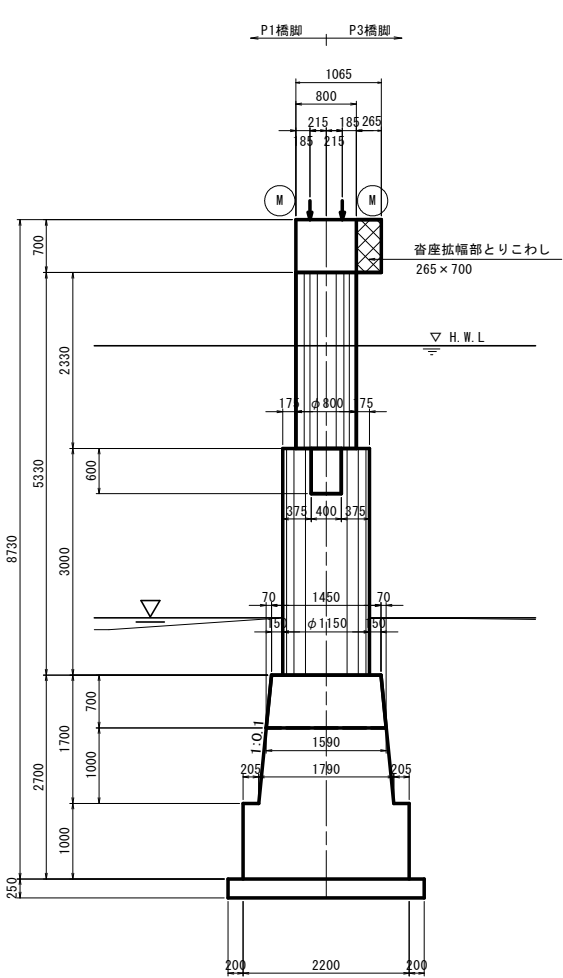
沓座拡幅部とりこわし平面図 (2-2)



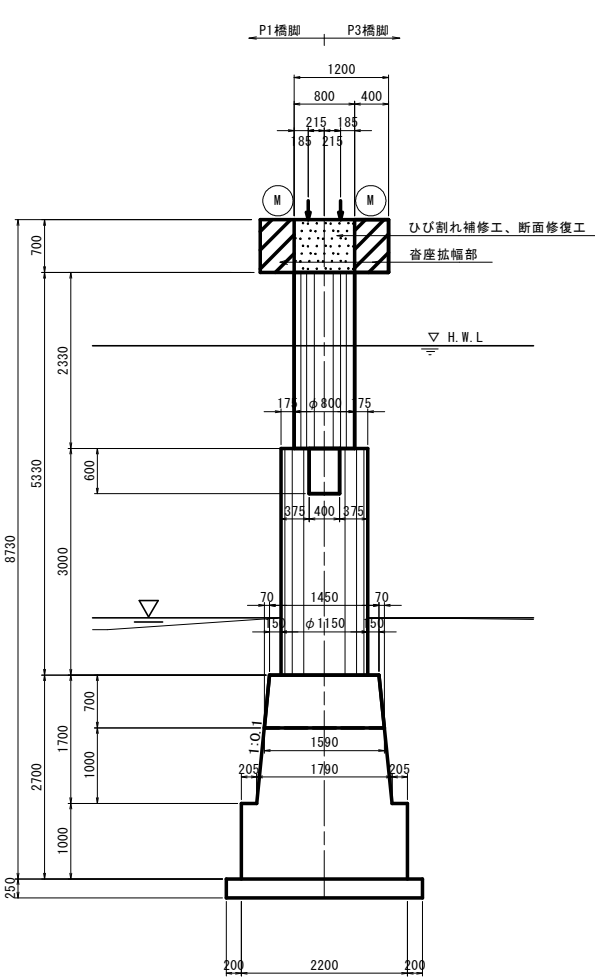
沓座拡幅部平面図 (2-2)



沓座拡幅部とりこわし側面図 (1-1)



沓座拡幅部側面図 (1-1)



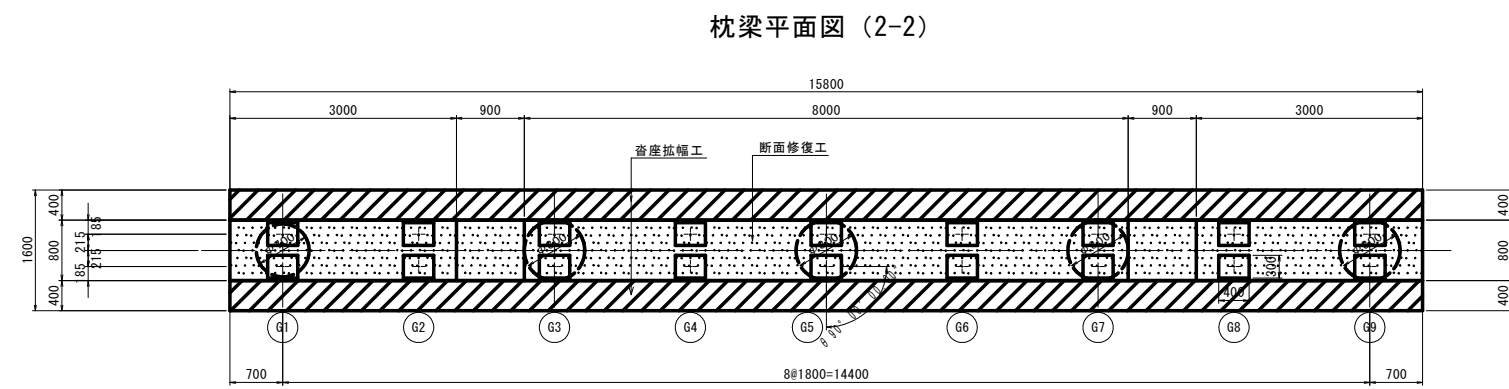
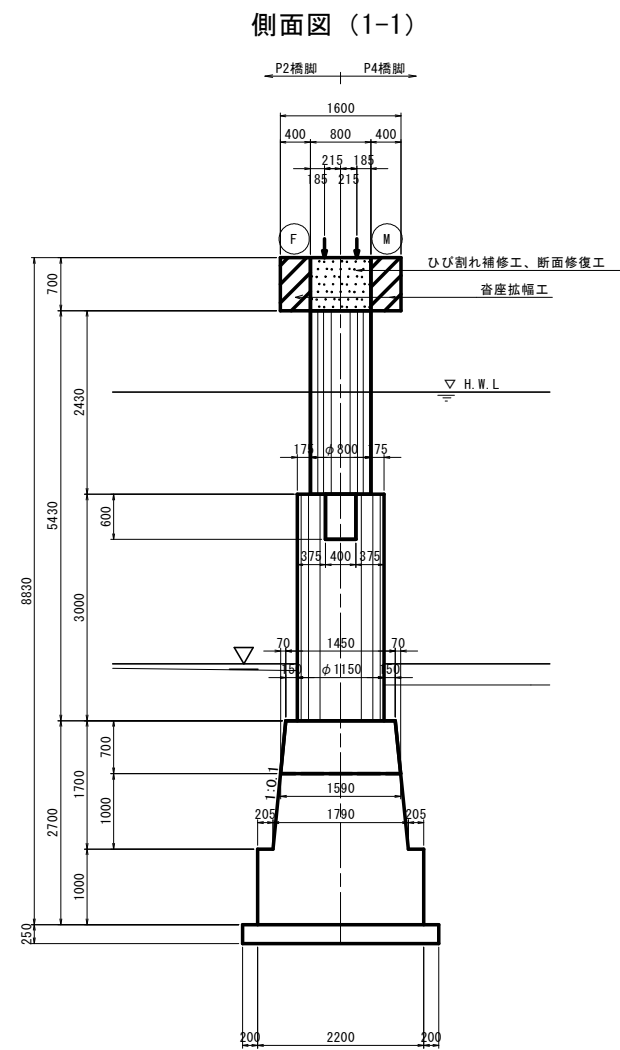
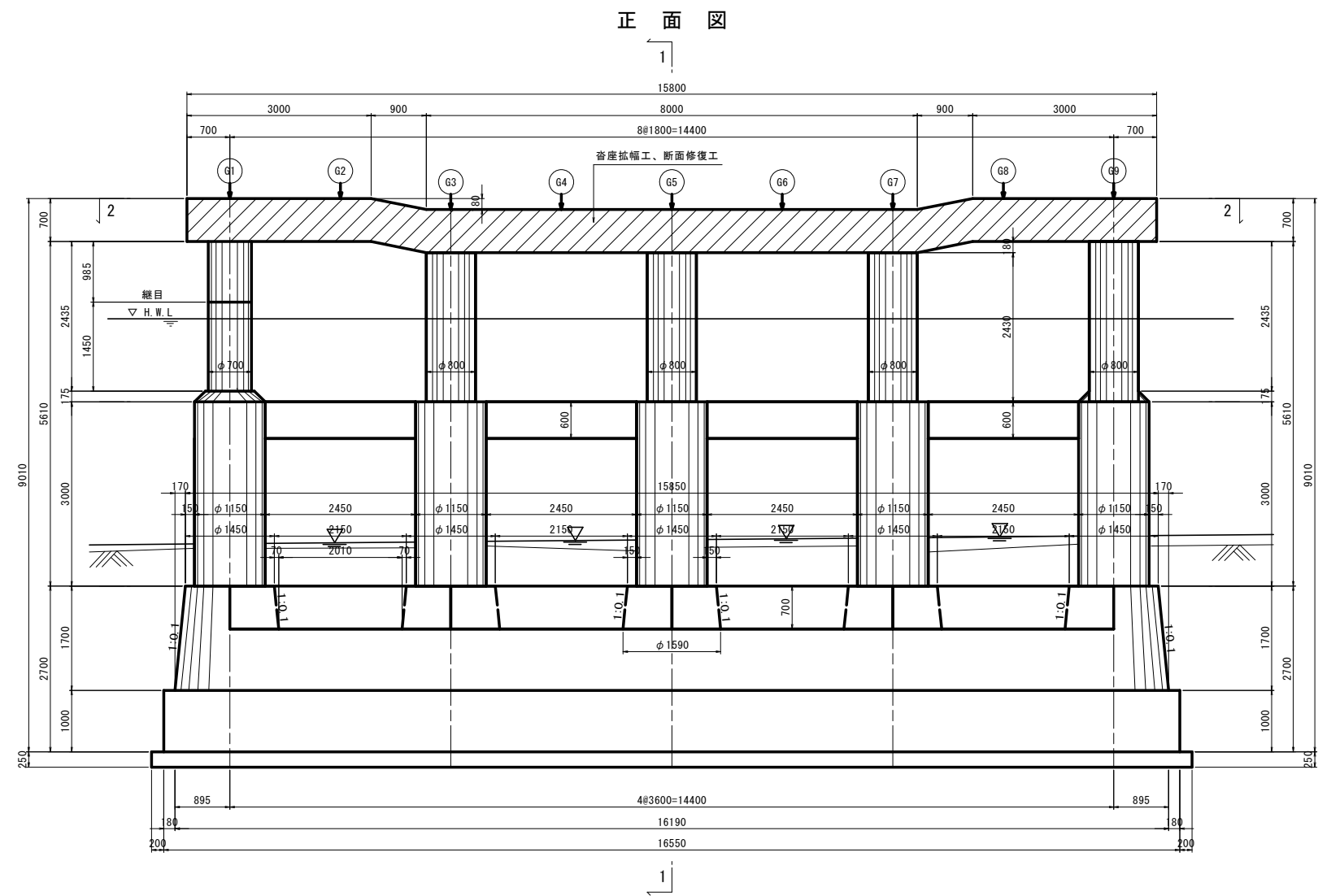
凡 例

- 沓座拡幅部
- 沓座拡幅部とりこわし
- ひび割れ補修工、断面修復工

注 記
・施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	P2橋脚補修・補強一般図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	S=1:50	図面番号	3 / 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

P3橋脚補修・補強一般図

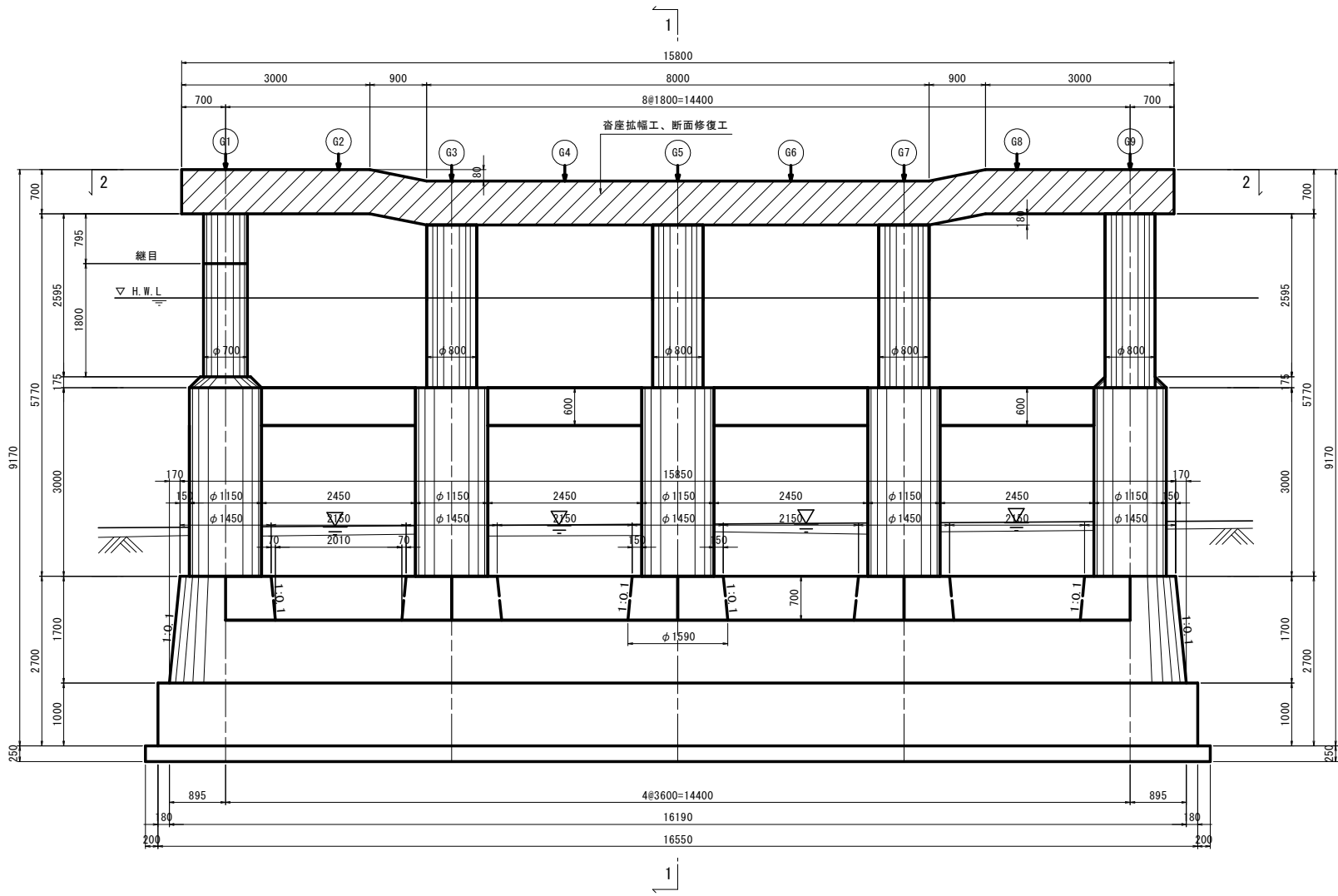


注 記
・施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

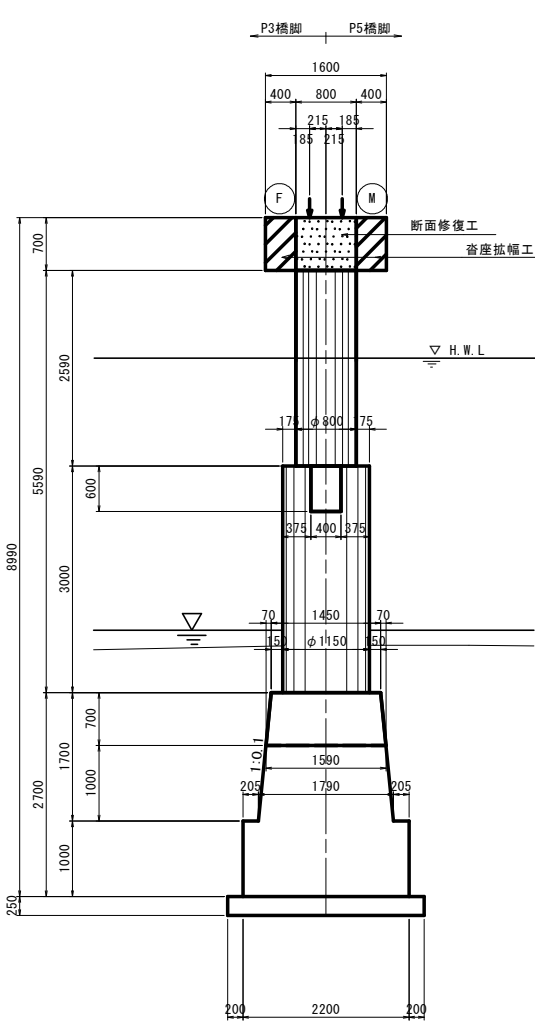
工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	P3橋脚補修・補強一般図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	S=1:50	図面番号	4 / 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

P4橋脚補修・補強一般図

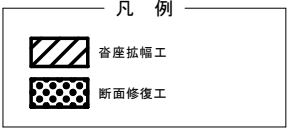
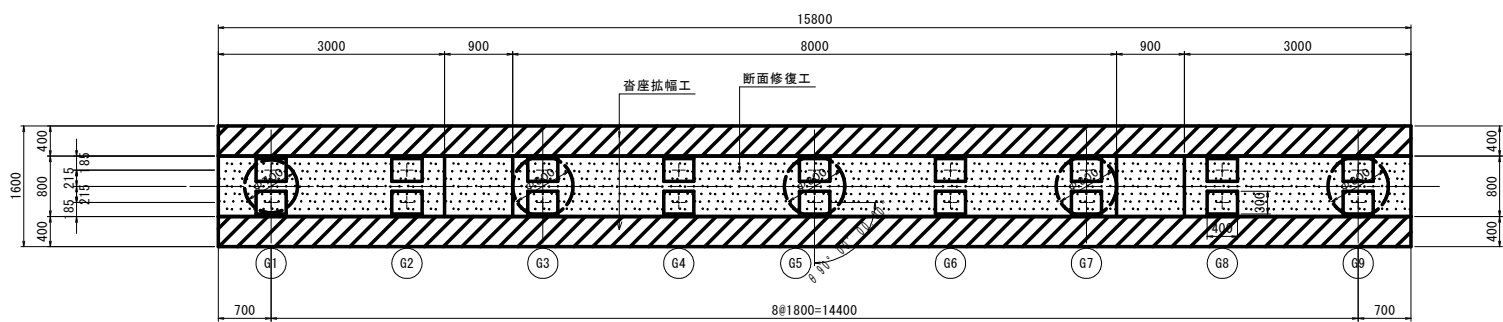
正面図



側面図 (1-1)



梁平面図 (2-2)



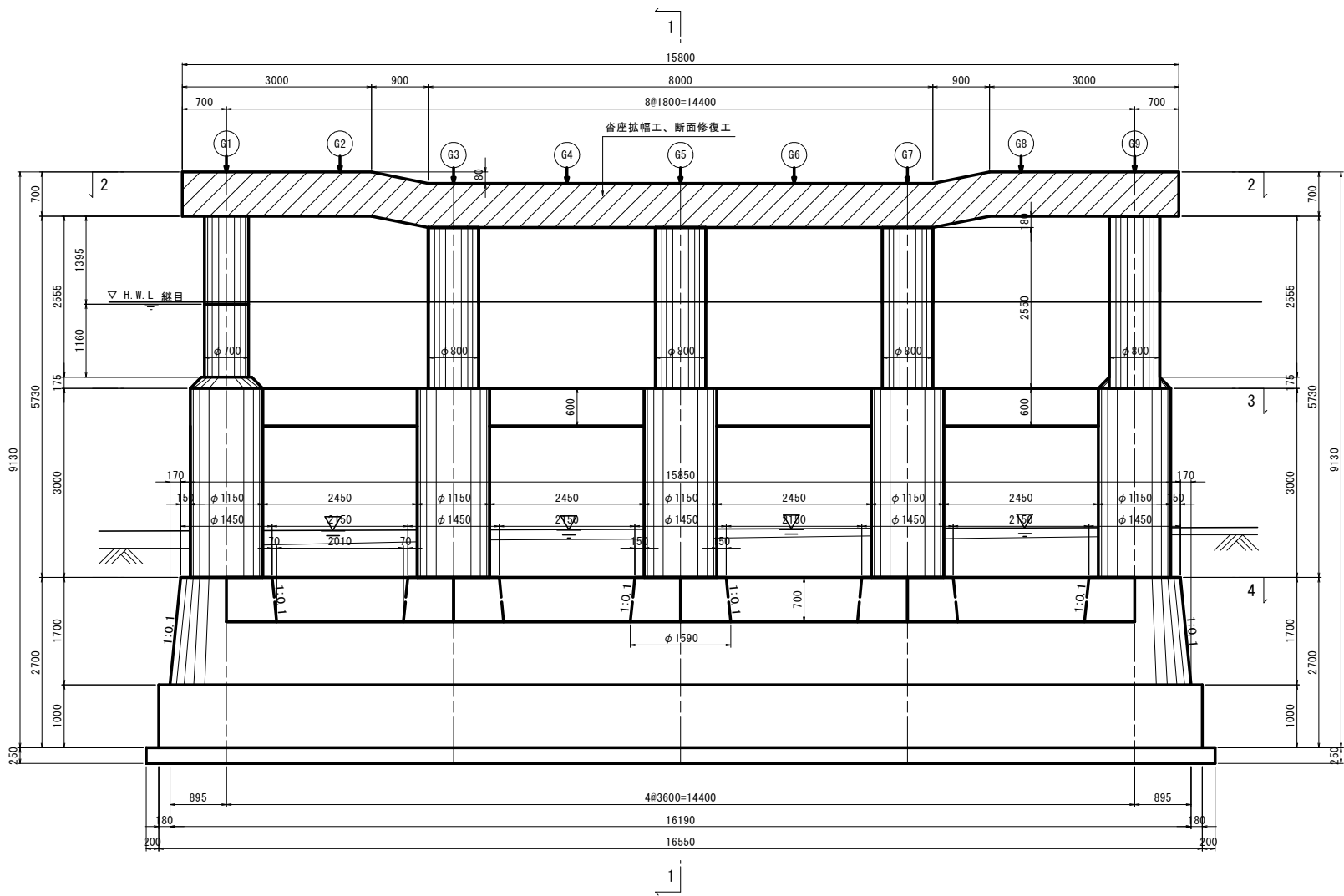
注 記

・施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

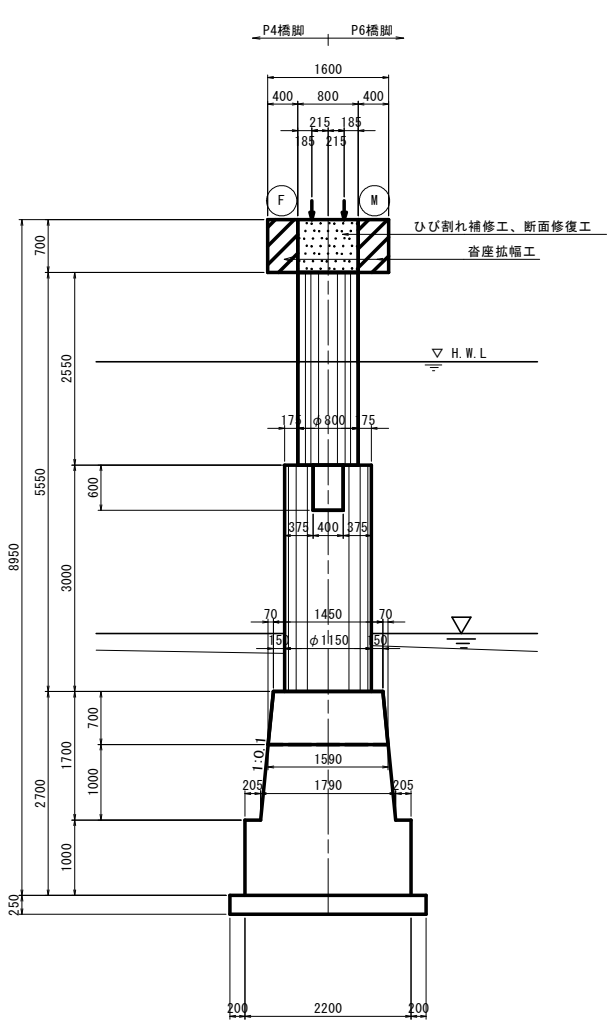
工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)		
工事場所	京都市東山区大橋町地内		
図面名	P4橋脚補修・補強一般図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	S=1:50	図面番号	5 / 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

P5橋脚補修・補強一般図

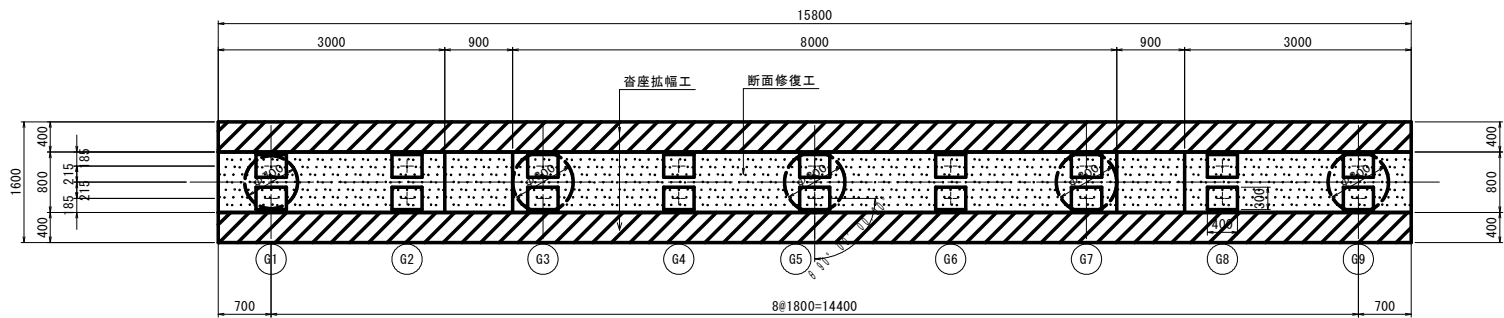
正面図



側面図 (1-1)



梁平面図 (2-2)

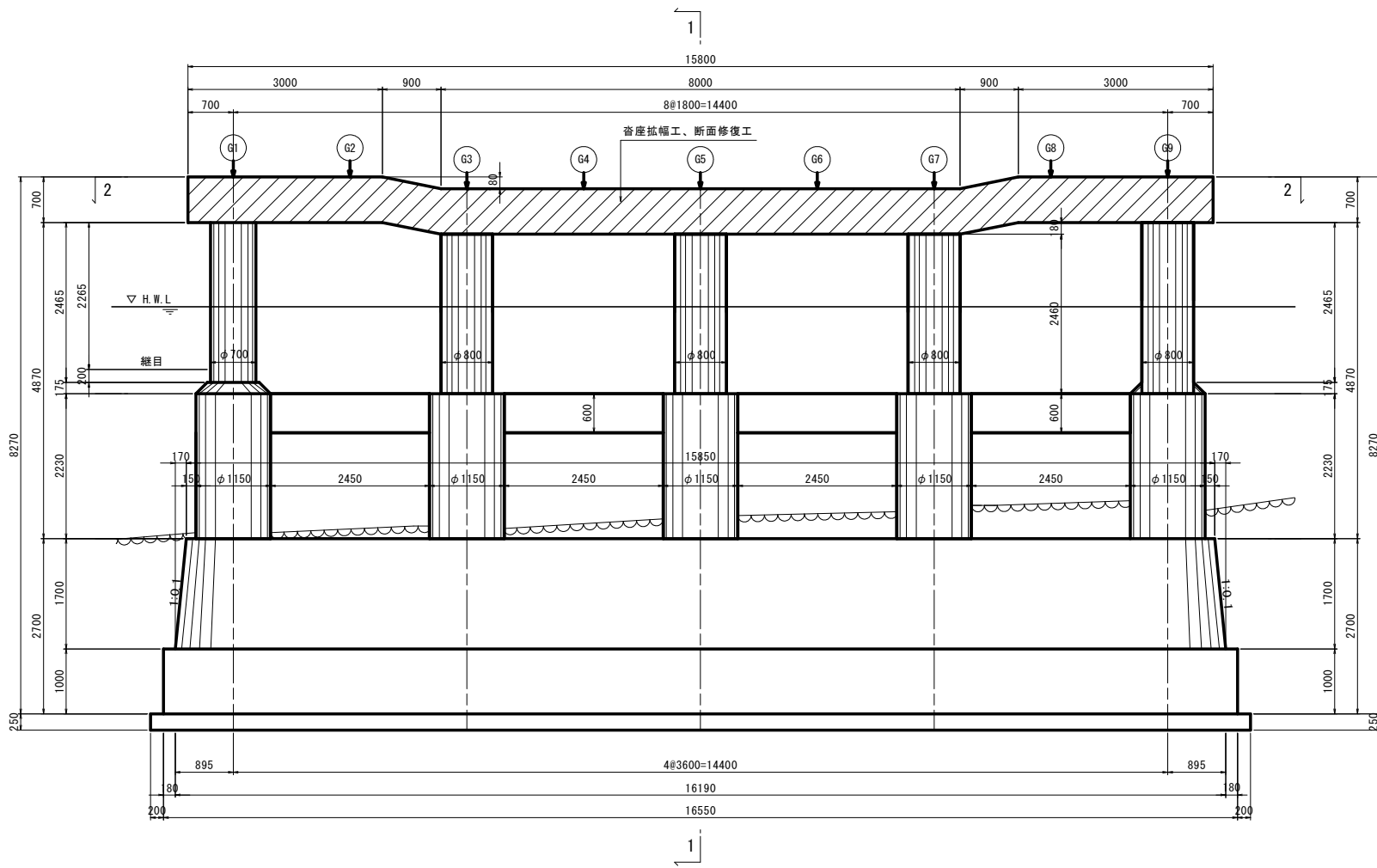


注 記
・施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

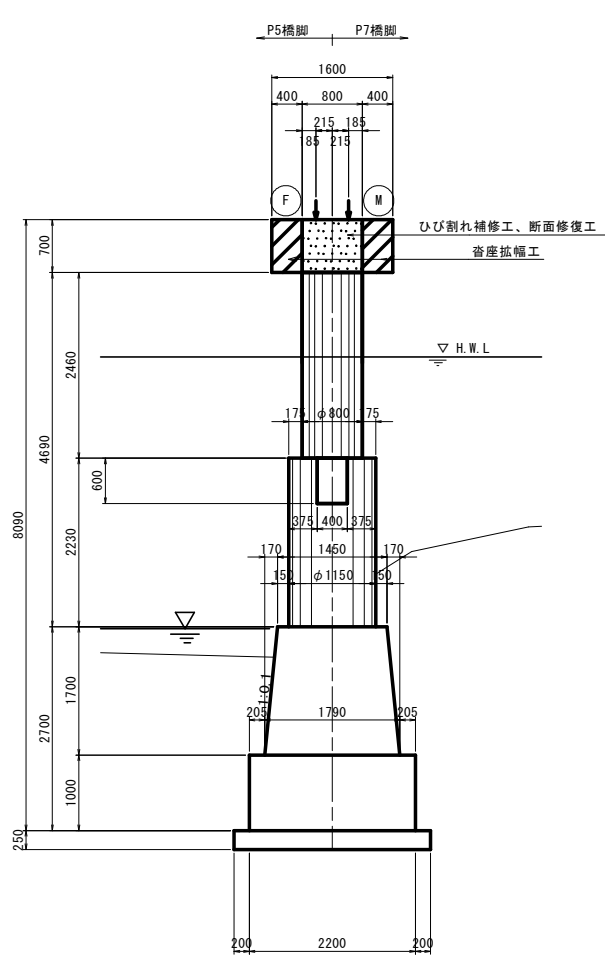
工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	P5橋脚補修・補強一般図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	S=1:50	図面番号	6 / 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

P6橋脚補修・補強一般図

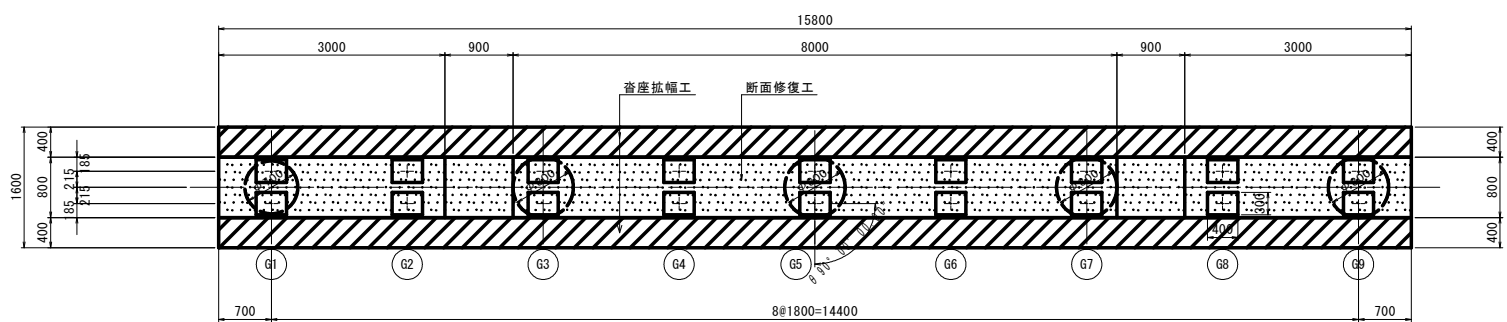
正面図



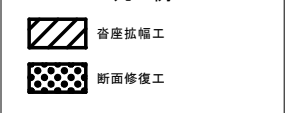
側面図 (1-1)



梁平面図 (2-2)



凡 例

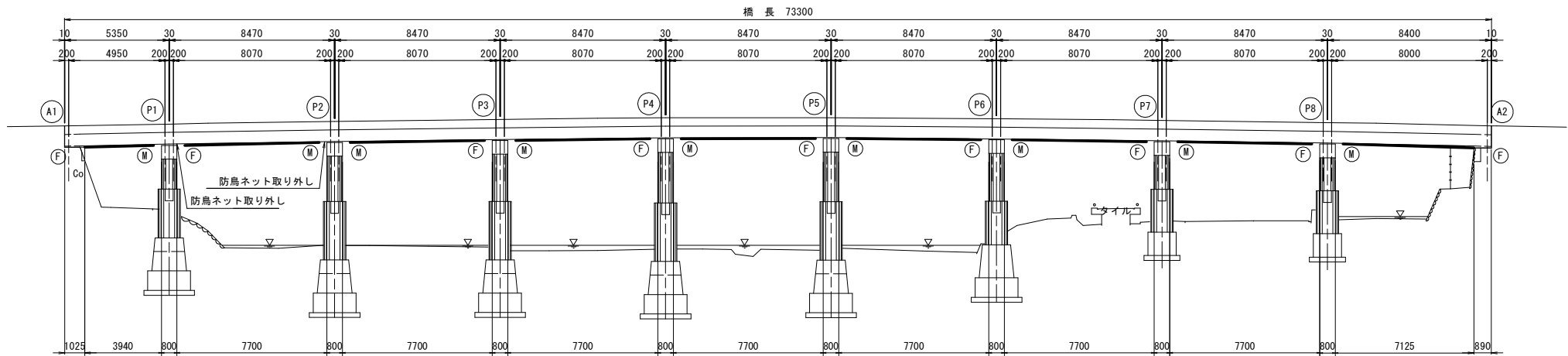


注 記
・施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

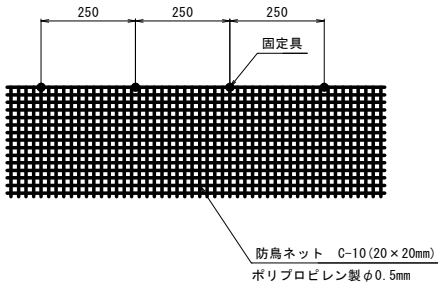
工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	P6橋脚補修・補強一般図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	S=1:50	図面番号	7 / 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

防鳥ネット取り外し図

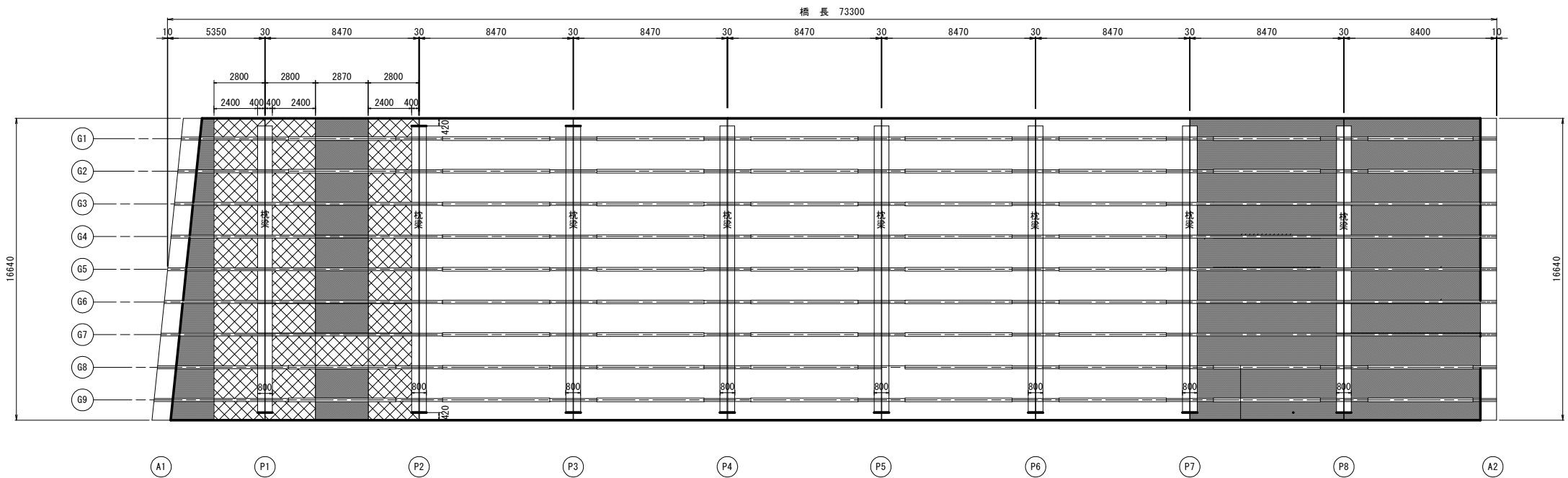
側 面 図 S=1:150



ネット詳細図 S=1:10



平 面 図 S=1:150

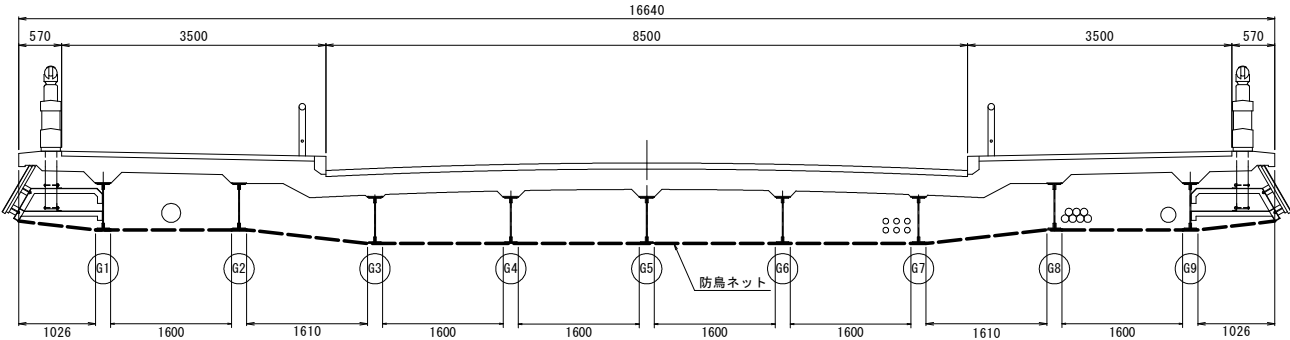


防鳥ネット取り外し数量表

種別	細別	施工面積 (m2)
防鳥ネット工	防鳥ネット取り外し	108.1

- : 防鳥ネット存置範囲
- ▨ : 防鳥ネット取り外し範囲

断 面 図 S=1:50

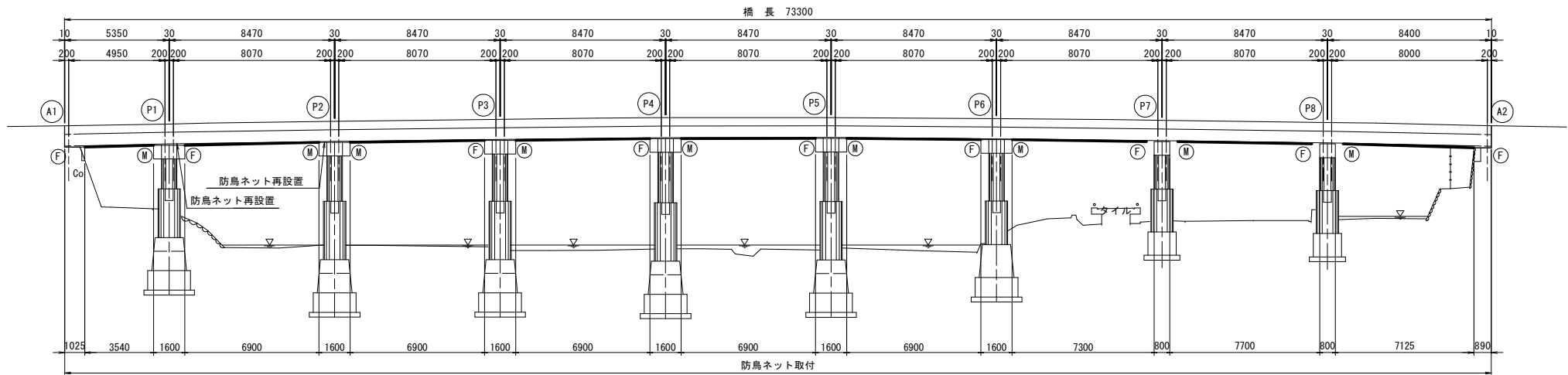


- 注) 取り外した防鳥ネットは再設置するため、破損しないよう慎重に固定具から取り外し、図面に示す範囲で切断すること。
- また固定具については、橋脚枕梁に設置されているものは撤去し、主桁に設置されているものは存置すること。
- 破損等している固定具があれば、取り替えること。
- 注) 防鳥ネットの取り外し範囲のうち、G4～G6の範囲はBT300を用いて取り外し、それ以外の範囲はBT200を用いて取り外すことを想定している。

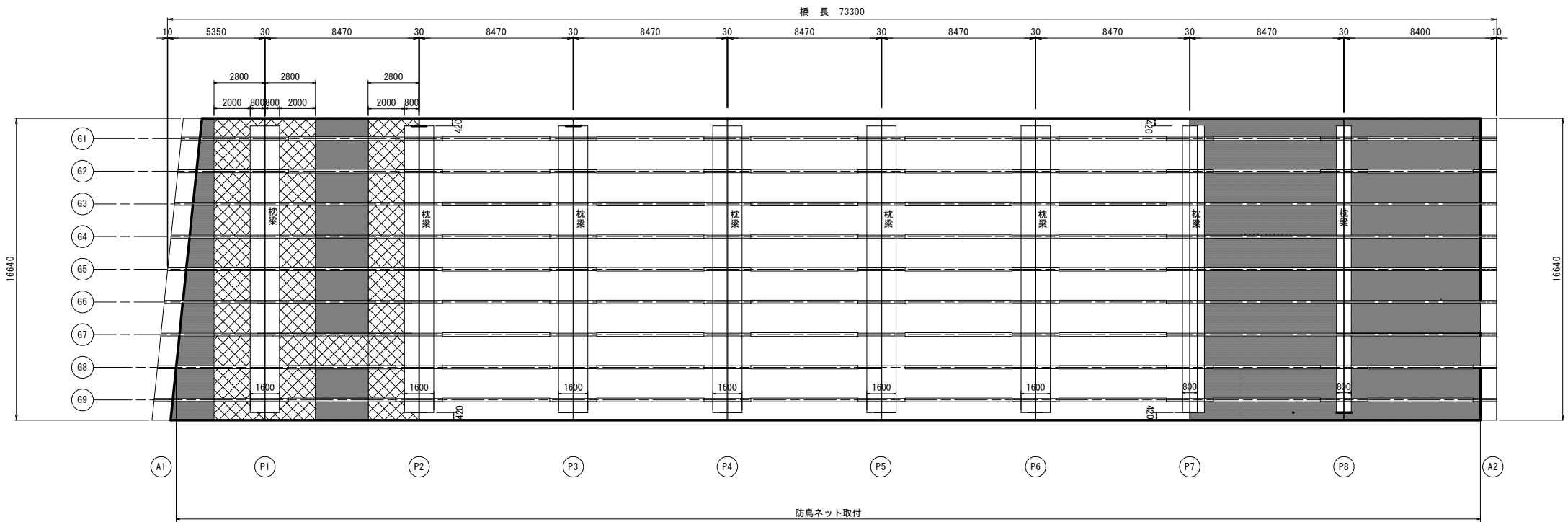
工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)			
工事場所	京都市東山区大橋町他地内			
図面名	防鳥ネット取り外し図			
事業年度	令和8年度			
縮 尺	図 示	図面番号	8	/ 17
京都市建設局土木管理部機りょう健全推進課				

防鳥ネット再設置図

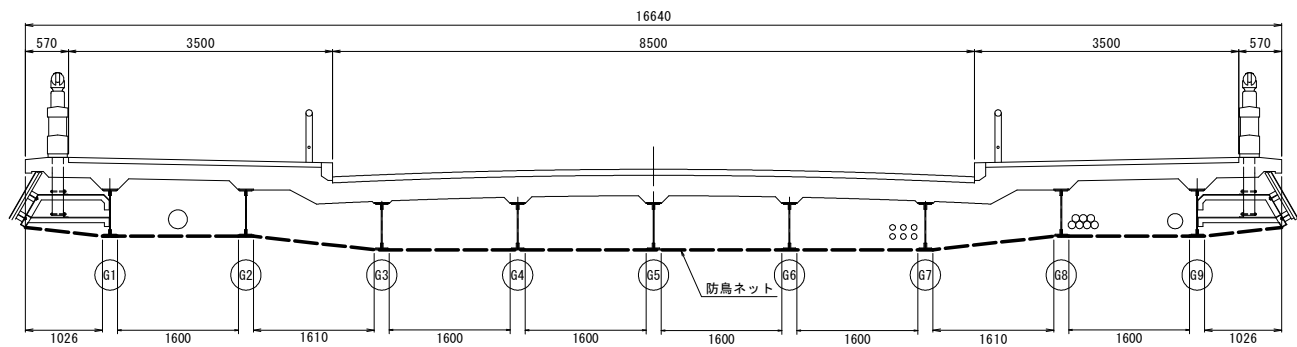
側 面 図 S=1:150



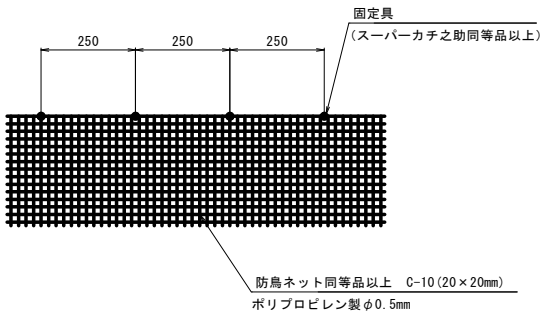
平 面 図 S=1:150



防鳥ネット正面図 S=1:50



ネット詳細図 S=1:10



防鳥ネット再設置数量表

種別	細別	施工面積 (m2)	固定具設置数 (個)
防鳥ネット工	防鳥ネット再設置	91.3	180

注) 再設置した防鳥ネットと既設の防鳥ネットとの
境目は、結束線等を用いて目立たないように結束すること。

注) 固定具の接着は、合成樹脂を主成分とした
多用途強力接着剤を使用すること。

注) 固定具は橋脚枕梁（畜産拡幅部）にのみ接着すること。
（主桁下フランジには、前回工事で設置済み）

注) 防鳥ネットの再設置範囲のうち、G4～G6の範囲は
BT300を用いて再設置し、それ以外の範囲はBT200を用いて
再設置することを想定している。

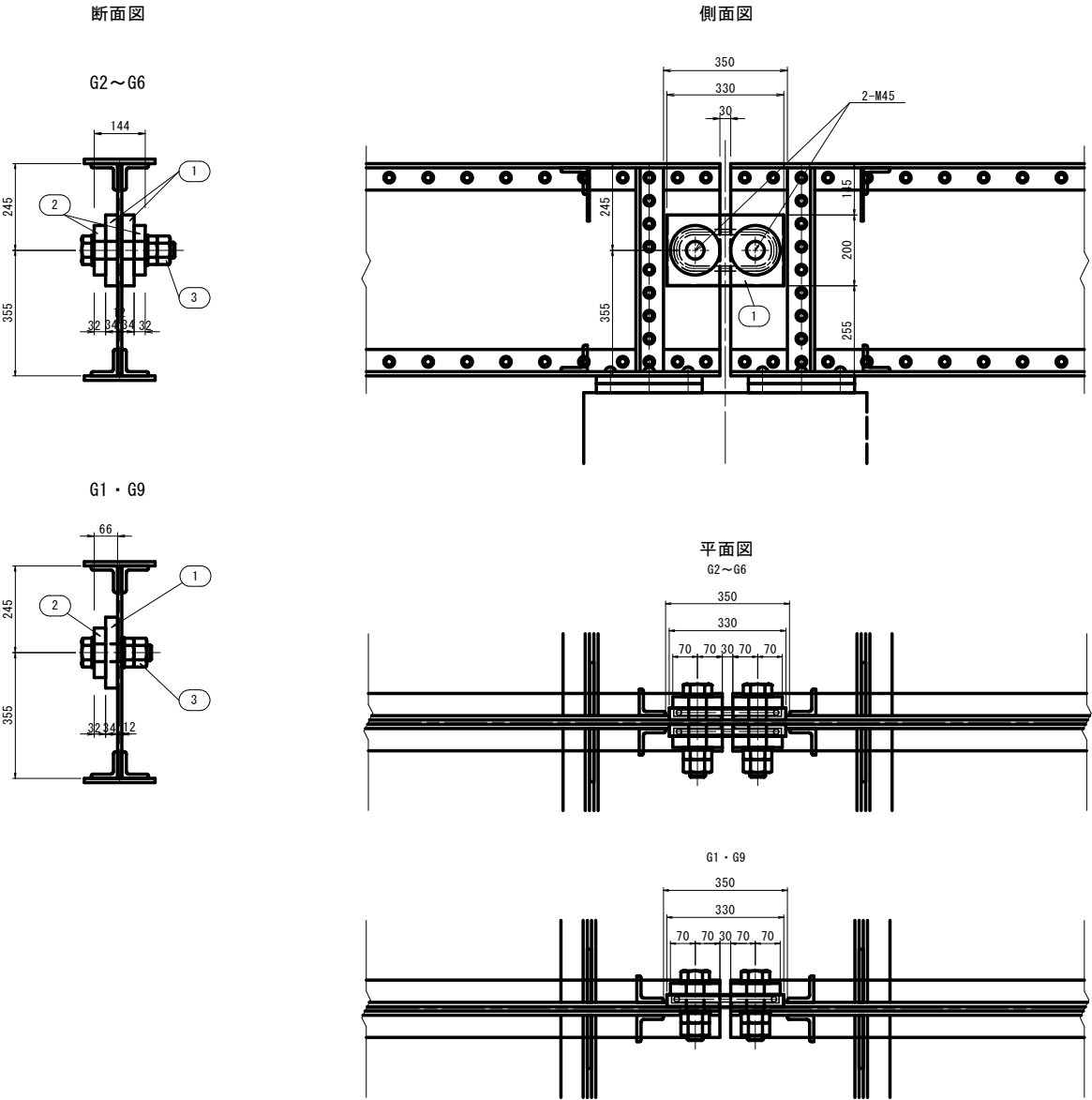
：防鳥ネット既設範囲

：防鳥ネット再設置範囲

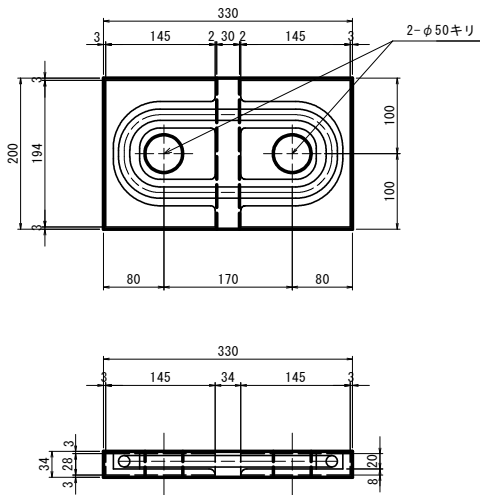
工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)			
工事場所	京都市東山区大橋町他地内			
図面名	防鳥ネット再設置図			
事業年度	令和8年度			
縮 尺	図 示	図面番号	9	/ 17
京都市建設局土木管理部機りょう健全推進課				

落橋防止装置工詳細図

取付図 S=1:10



① 落橋防止装置 S=1:5
FRAC(改) 同等品以上



材料表 (1組当り) G2～G6

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
①	FRAC(改) 同等品以上	CR, SM490A, 繊維ロープ	2	42.0	
②	取付プレート	SM490A	4	11.6	
③	取付ボルト	M45 x 240、強度区分 8.8	2	7.9	

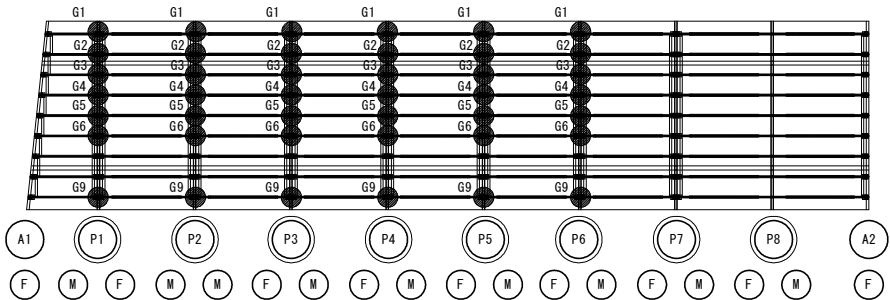
材料表 (1組当り) G1・G9

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
①	FRAC(改) 同等品以上	CR, SM490A, 繊維ロープ	1	21.0	
②	取付プレート	SM490A	2	5.7	
③	取付ボルト	M45 x 170、強度区分 8.8	2	6.2	

※1 材料表の部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
銅板 (HDZT77)、ボルト・ナット類 (HDZT49)

※2 金物類の形状は仮決めで、状況に応じ適宜変更すること。

落橋防止装置設置箇所図

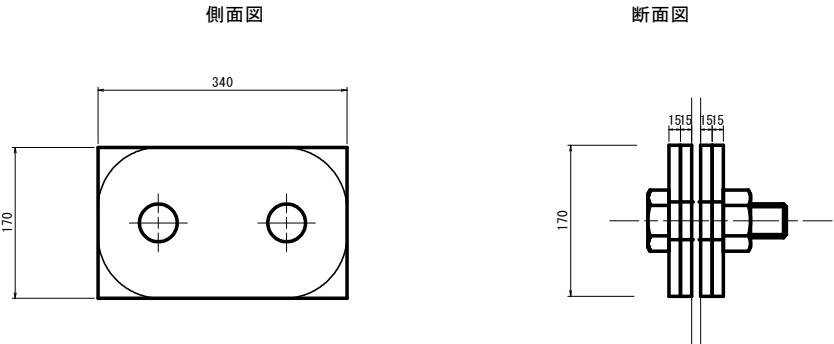


※G1はG2側に、G9はG8側に1基設置する。

落橋防止装置設置 数量表

種別	細別	数量 (組)
落橋防止装置工	落橋防止装置 (G1、G9用)	12
	落橋防止装置 (G2～G6用)	30

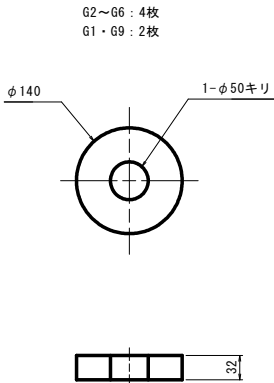
既設落橋防止装置 S=1:5
(P2橋脚)



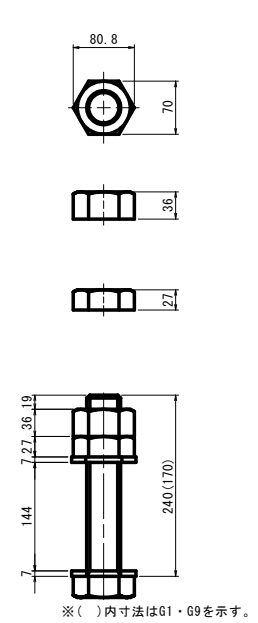
既設落橋防止装置撤去 数量表

種別	細別	数量 (組)	総重量 (t)
落橋防止装置工	既設落橋防止装置撤去	7	0.2

② 取付プレート S=1:5
G2～G6: 4枚
G1・G9: 2枚

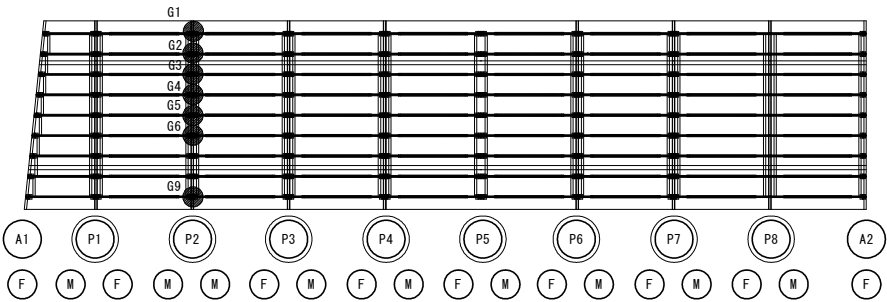


③ 取付ボルト S=1:5



※() 内寸法はG1・G9を示す。

落橋防止装置撤去箇所図

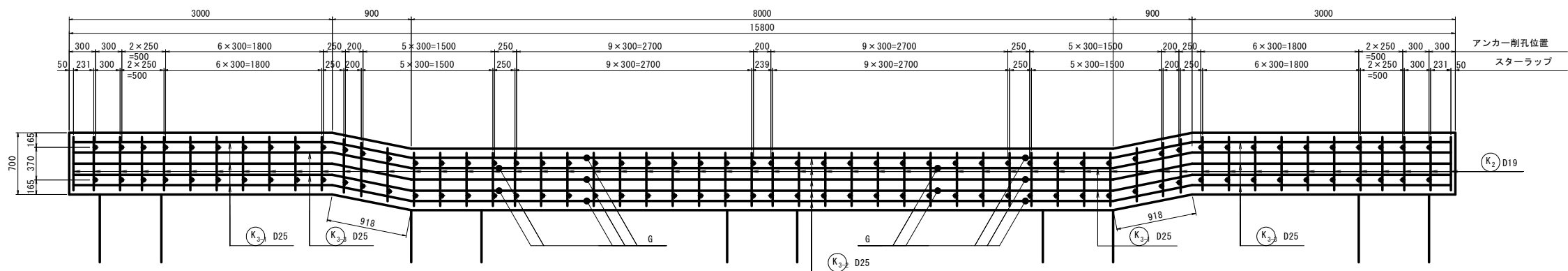


注記)
・P2橋脚上に落橋防止装置を設置する際は、撤去した落橋防止装置のボルト孔 (φ50) を再利用可能か調査し、監督員に報告すること。
設計においては再利用可能であると想定しているが、もし不可能であれば、新設する落橋防止装置の設置位置や、ボルト孔の閉塞方法等について、監督員と協議すること。

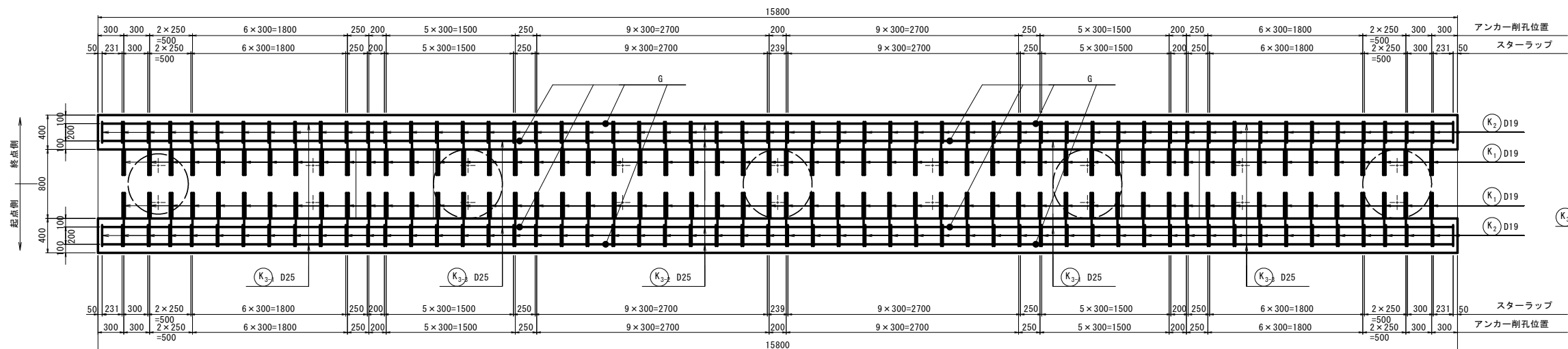
工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)			
工事場所	京都市東山区大橋町他地内			
図面名	落橋防止装置工詳細図			
事業年度	令和8年度			
縮 尺	図 示	図面番号	10	/ 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課				

橋脚沓座拡幅配筋図

正 面 图 S=1:30



平面圖 S=1:30



鉄筋表 (1橋脚当たり)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	I本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘要
K1	D19	890	216	2.25	2.00	432	
K2	D19	1,360	224	2.25	3.06	685	
K3-1	D25	5,870	20	3.98	23.4	468	
K3-2	D25	5,000	20	3.98	19.9	398	
K3-3	D25	4,870	20	3.98	19.4	388	
2,371 kg							
SD345							
				D19	1,117	kg	
				D25	1,254	kg	
				合計	2,371	kg	
ガス圧接継手箇所							
				D25	40	箇所	
削孔 φ29 L=295							
					216	本	

鉄筋表 (6橋脚当たり)

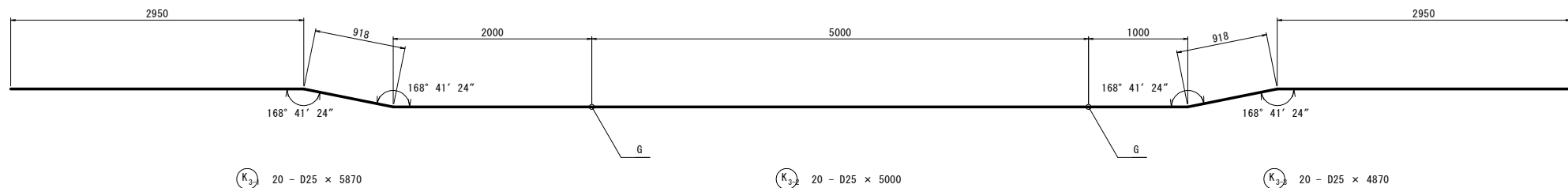
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
K1	D19	890	1296	2.25	2.00	2.592	—
K2	D19	1,360	1344	2.25	3.06	4.113	⌋
K3-1	D25	5,870	120	3.98	23.4	2.808	—
K3-2	D25	5,000	120	3.98	19.9	2.388	—
K3-3	D25	4,870	120	3.98	19.4	2.328	—
						14.229 kg	
SD345				D19	6,705 kg		
				D25	7,524 kg		
				合計	14,229 kg		
ガス圧接継手箇所				D25	240 箇所		
削孔				φ29 L=295	1296 本		

注記 1. G記号は、ガス圧接継手を示す。

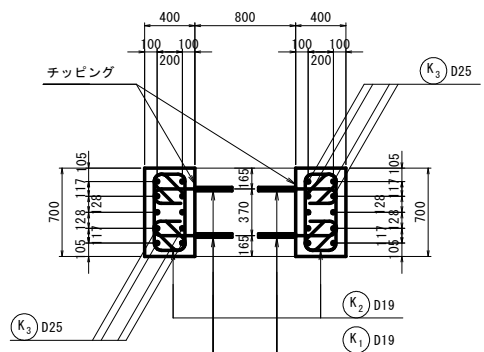
2. 工事着手前に現地調査により、各寸法を確認すること。

3. 削孔にあたっては、着手前に鉄筋探査を行うこと。

4. コンクリート規格は24-12-25 (20) (高炉) とする。

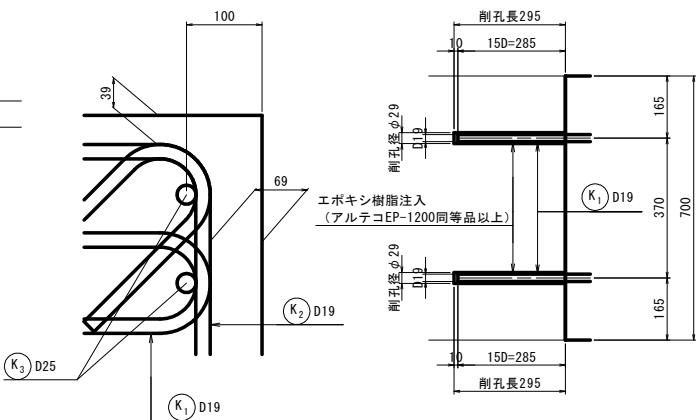


側 面 図



かぶり詳細図 S=1:5

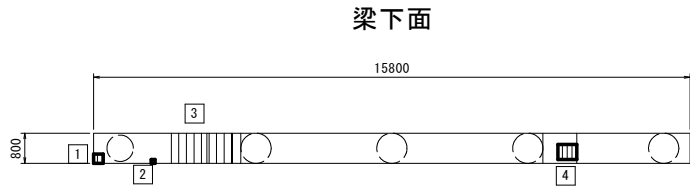
アンカー詳細図 S=1:10



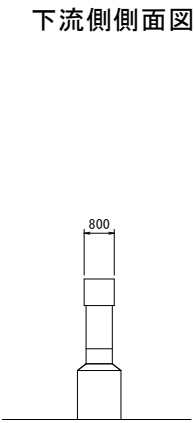
工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	橋脚宙座拡幅配筋図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	11 / 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

P1・P2橋脚 補修図

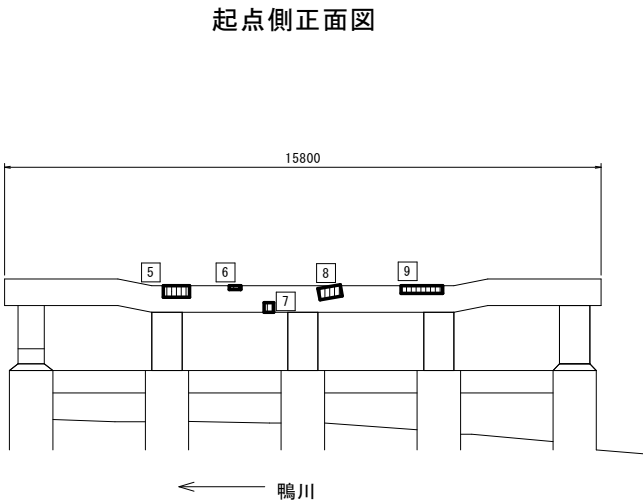
【P1橋脚】



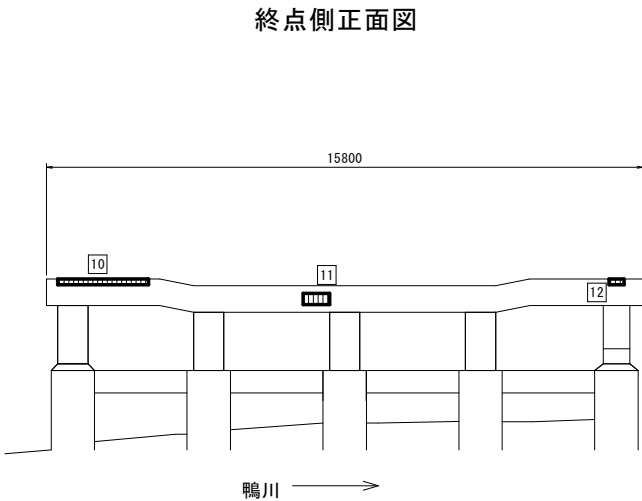
下流側側面図



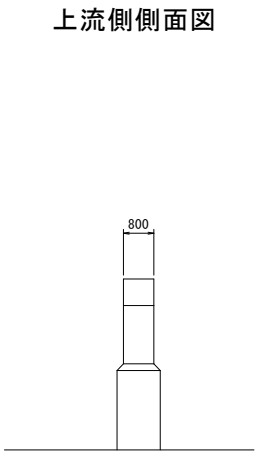
起点側正面図



終点側正面図



上流側側面図

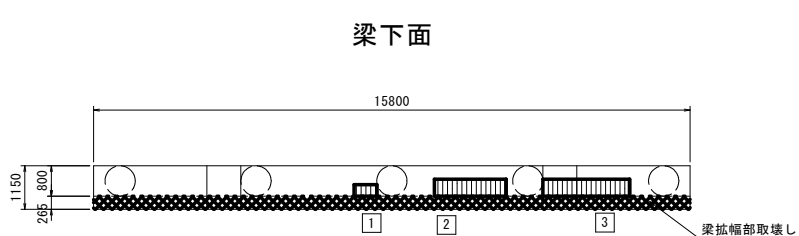


断面修復工（左官工法）一覧表【P1橋脚】

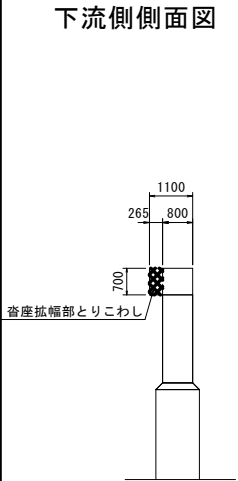
番号	損傷の種類	損傷範囲		修復体積 (m3)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)		
1	うき	250	× 250	0.0057	
2	うき	100	× 100	0.0009	
3	うき	800	× 1620	0.1166	
4	剝離・鉄筋露出	500	× 400	0.0180	
5	剝離・鉄筋露出	700	× 300	0.0189	
6	うき	300	× 100	0.0027	
7	うき	250	× 250	0.0057	
8	剝離・鉄筋露出	600	× 300	0.0162	
9	剝離・鉄筋露出	1100	× 200	0.0198	
10	うき	2400	× 150	0.0324	
11	うき	700	× 300	0.0189	
12	うき	400	× 150	0.0054	
合 計				0.2612	

注) 断面修復工のはつり深さは90mmを想定している。

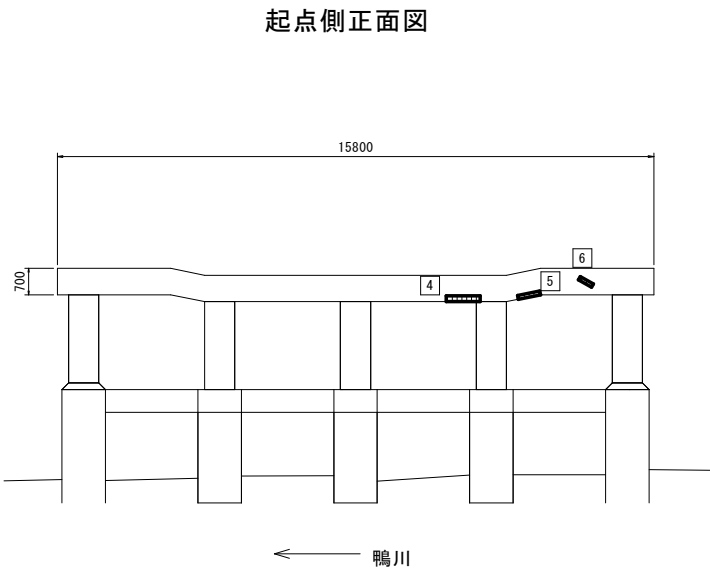
【P2橋脚】



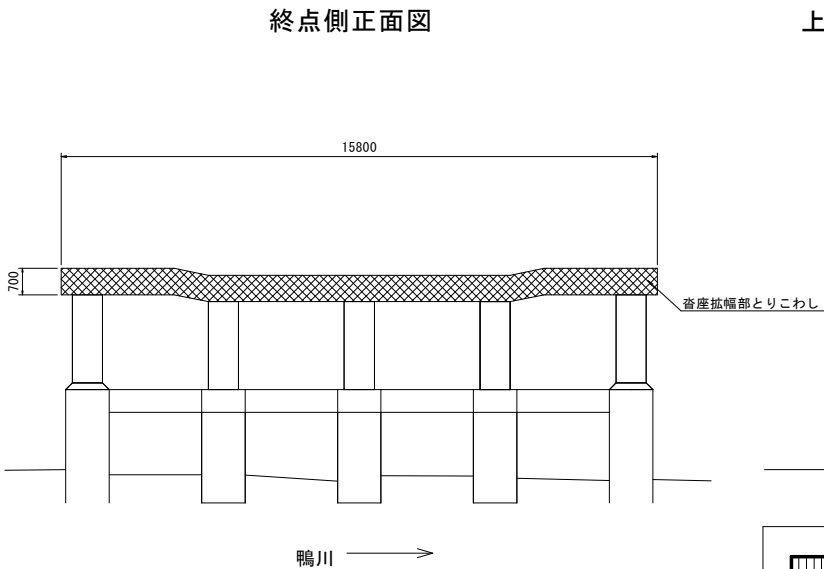
下流側側面図



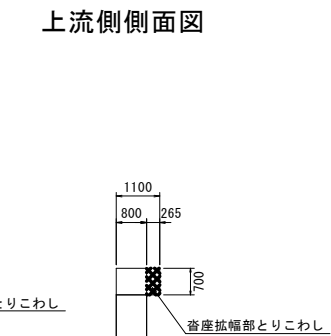
起点側正面図



終点側正面図



上流側側面図



断面修復工（左官工法）一覧表【P2橋脚】

番号	損傷の種類	損傷範囲		修復体積 (m3)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)		
1	うき	600	× 300	0.0162	
2	うき	1900	× 450	0.0770	
3	うき	2300	× 450	0.0932	
4	うき	900	× 150	0.0122	
5	剝離・鉄筋露出	600	× 100	0.0054	
6	剝離・鉄筋露出	400	× 100	0.0036	
合 計				0.2076	

注) 断面修復工のはつり深さは90mmを想定している。

注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行い、監督員に確認のうえで最終数量を決定すること。

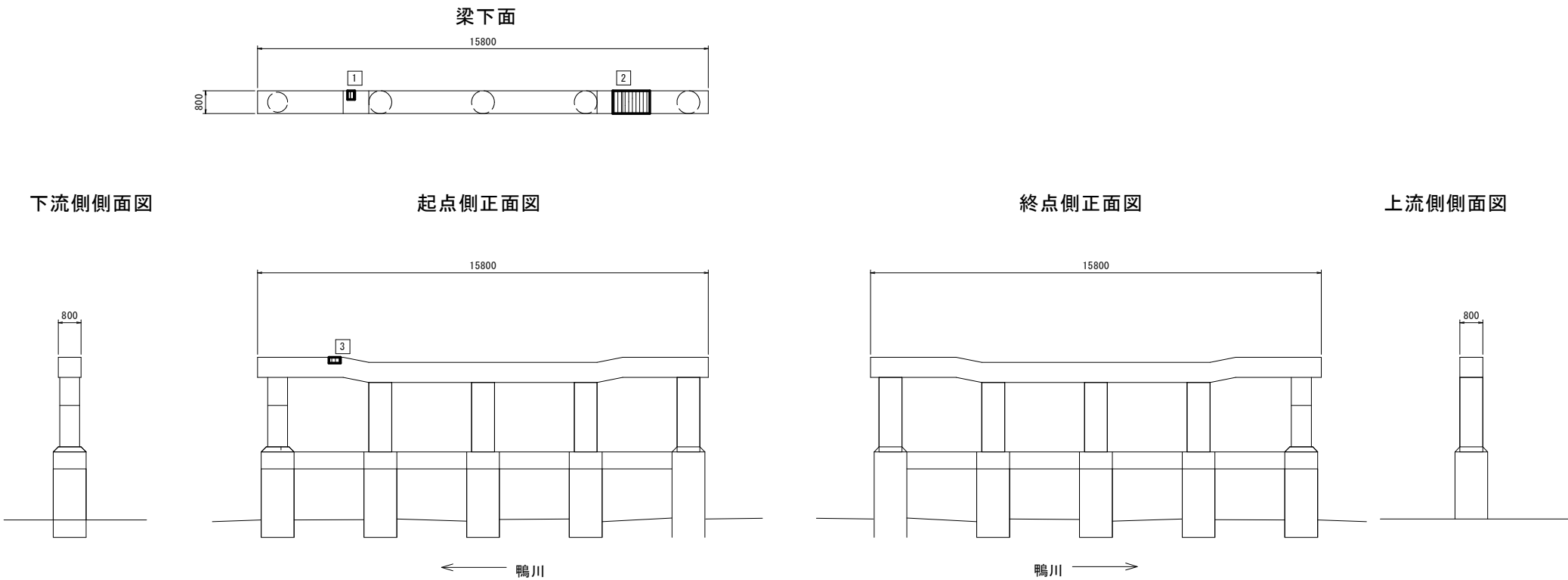
凡 例

	断面修復工（左官工法）
	ひび割れ補修工（低圧注入工法）
	沓座拡幅部とりこわし

工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	P1・P2橋脚 補修図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	1:100	図面番号	12 / 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

P3・P4橋脚 補修図

【P3橋脚】

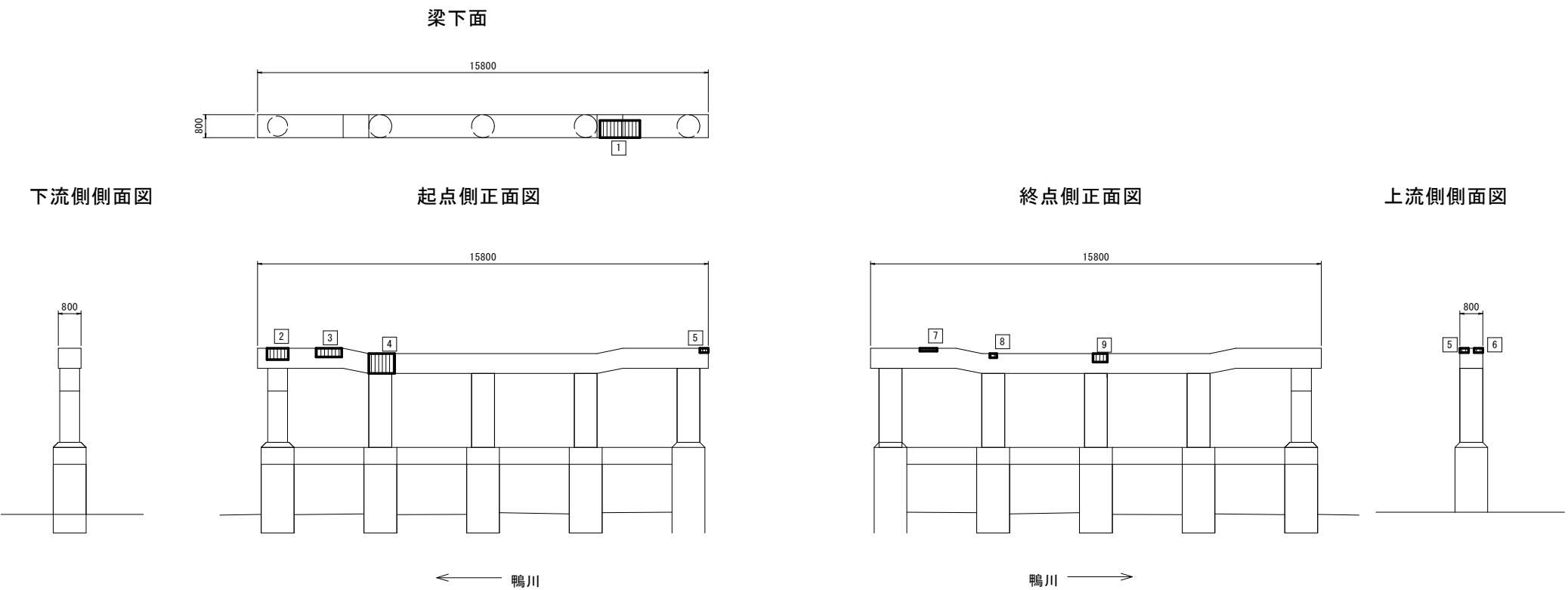


断面修復工一覧表【P3橋脚】

番号	損傷の種類	損傷範囲		修復体積 (m3)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)		
1	剝離・鉄筋露出	300	× 250	0.0068	
2	剝離・鉄筋露出	800	× 1300	0.0936	
3	うき	400	× 200	0.0072	
合 計				0.1076	

注) 断面修復工のはつり深さは90mmを想定している。

【P4橋脚】



断面修復工一覧表【P4橋脚】

番号	損傷の種類	損傷範囲		修復体積 (m3)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)		
1	うき	1400	× 600	0.0756	
2	うき	750	× 400	0.0270	
3	うき	900	× 300	0.0243	
4	うき	900	× 680	0.0551	
5	うき	600	× 150	0.0081	
6	うき	250	× 150	0.0034	
7	剝離・鉄筋露出	600	× 100	0.0054	
8	剝離・鉄筋露出	250	× 150	0.0034	
9	うき	500	× 300	0.0135	
合 計				0.2158	

注) 断面修復工のはつり深さは90mmを想定している。

凡 例

断面修復工（左官工法）

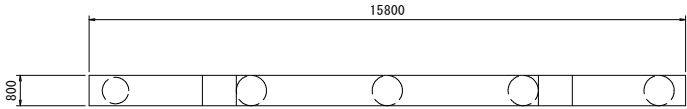
注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行い、監督員に確認のうえで最終数量を決定すること。

工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事（その5）		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	P3・P4橋脚 補修図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	1:100	図面番号	13 / 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

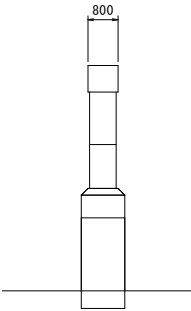
P5・P6橋脚 補修図

【P5橋脚】

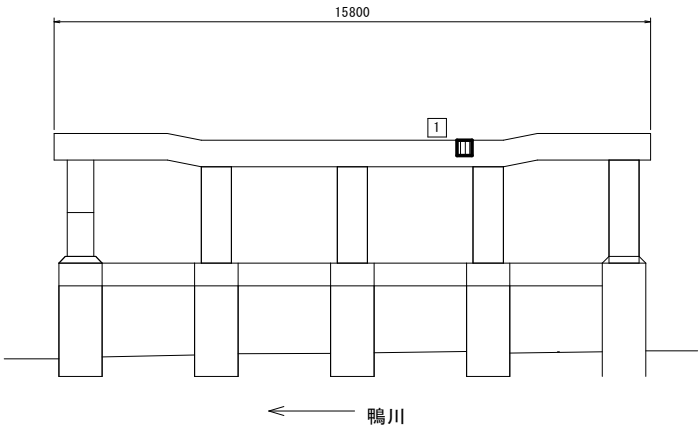
梁下面



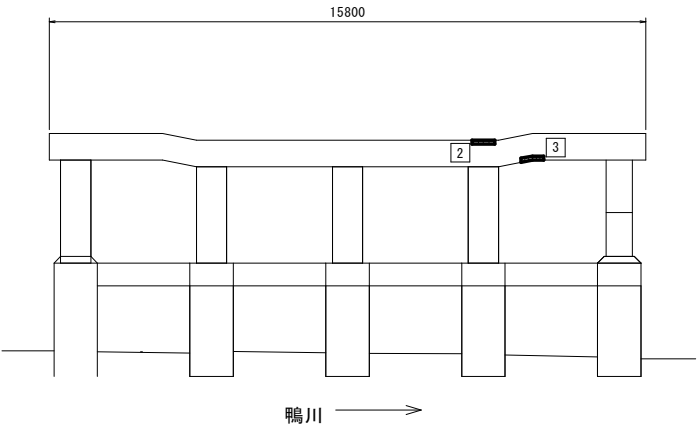
下流側側面図



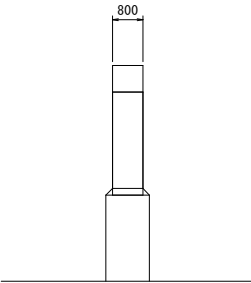
起点側正面図



終点側正面図



上流側側面図



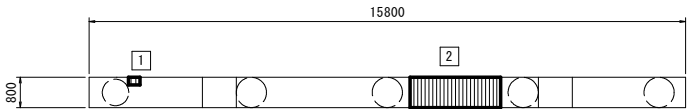
断面修復工一覧表【P5橋脚】

番号	損傷の種類	損傷範囲		修復体積 (m3)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)		
1	うき	400	× 400	0.0144	
2	うき	600	× 100	0.0054	
3	うき	600	× 100	0.0054	
合 計				0.0252	

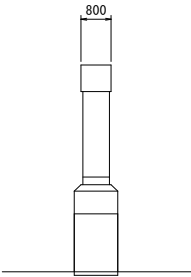
注) 断面修復工のはつり深さは90mmを想定している。

【P6橋脚】

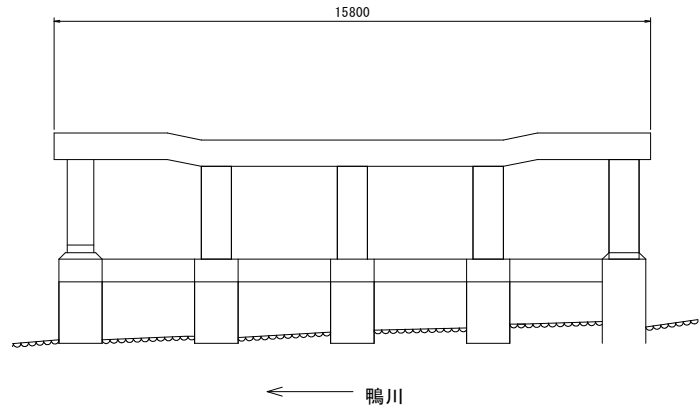
梁下面



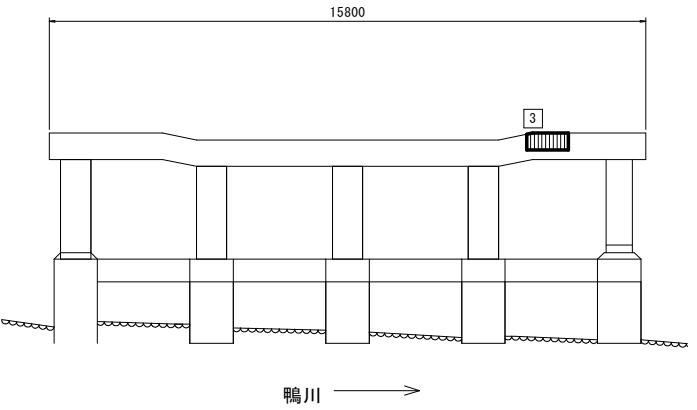
下流側側面図



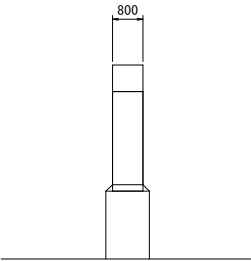
起点側正面図



終点側正面図



上流側側面図



断面修復工一覧表【P6橋脚】

番号	損傷の種類	損傷範囲		修復体積 (m3)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)		
1	うき	200	× 300	0.0054	
2	うき	800	× 2400	0.1728	
3	うき	1100	× 450	0.0446	
合 計				0.2228	

注) 断面修復工のはつり深さは90mmを想定している。

凡 例

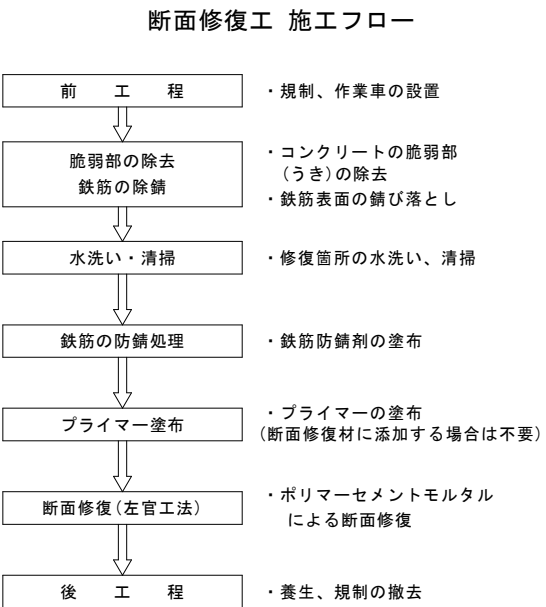
断面修復工（左官工法）

注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行い、監督員に確認のうえで最終数量を決定すること。

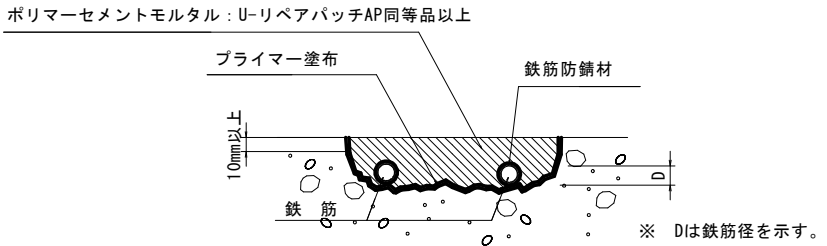
工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)		
工事場所	京都市東山区大橋町他地内		
図面名	P5・P6橋脚 補修図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	1:100	図面番号	14 / 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

補修工法概要図

(断面修復工)



注1) 鉄筋までハツリ出しすること。
注2) 鉄筋腐食が確認された際は、鉄筋の防錆処理を施すこと。

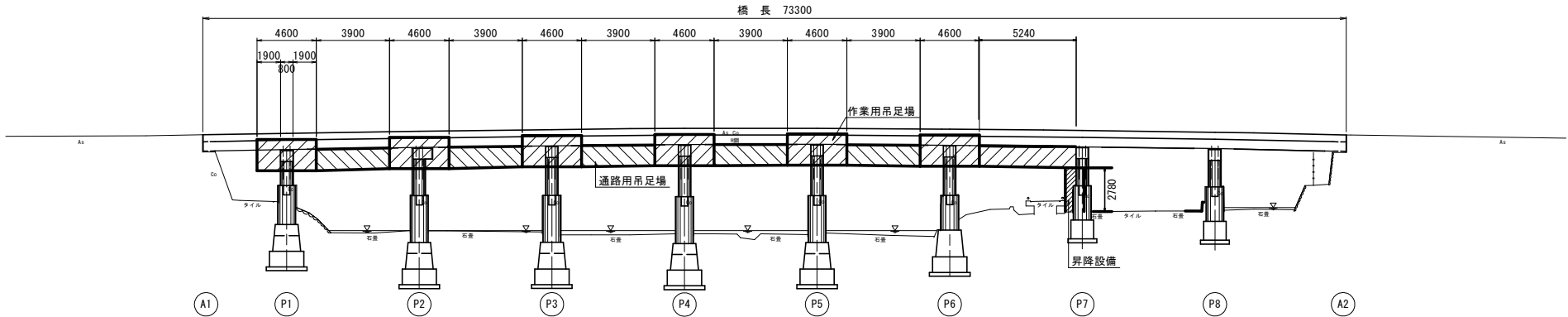


注1) 断面修復箇所端部のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れ、最小施工厚み(10mm以上)を確保すること。
注2) 鉄筋が腐食している場合には、ディスクサンダー等を用いて錆の除去を行うこと。

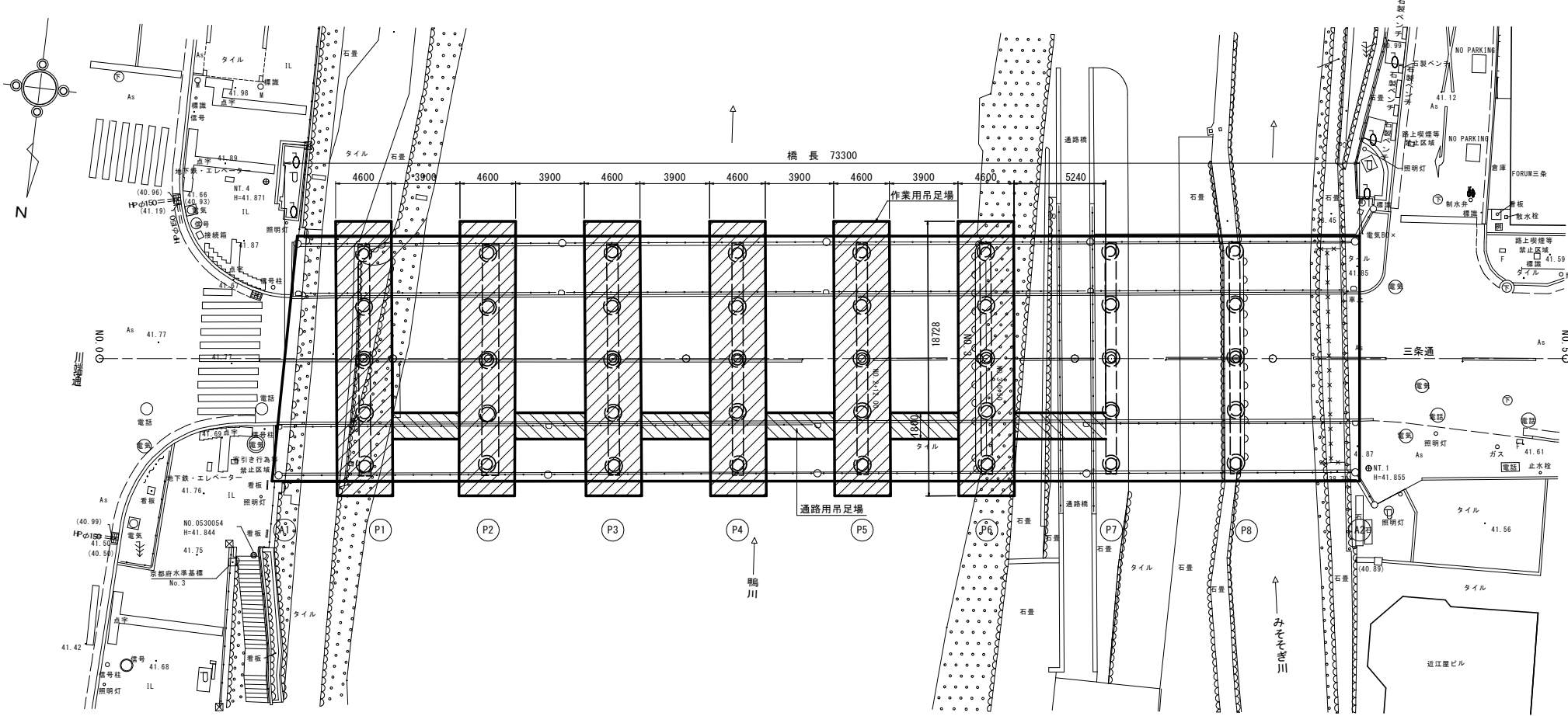
工事名	(総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)			
工事場所	京都市東山区大橋町他地内			
図面名	補修工法概要図			
事業年度	令和8年度			
縮尺	図示	図面番号	15	/ 17
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課				

<参考図> 三条大橋 足場工図

側 面 図 S=1:200



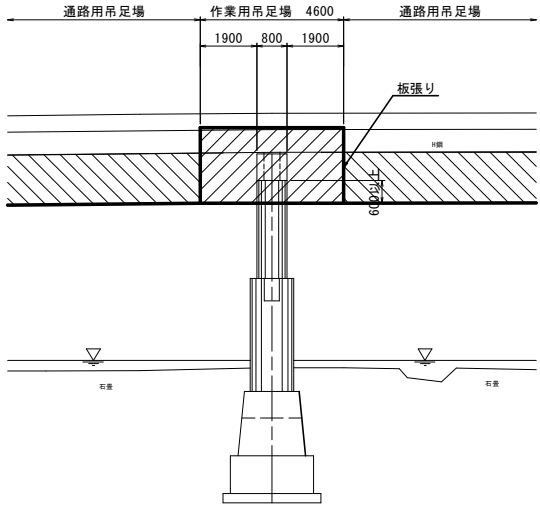
平 面 図 S=1:200



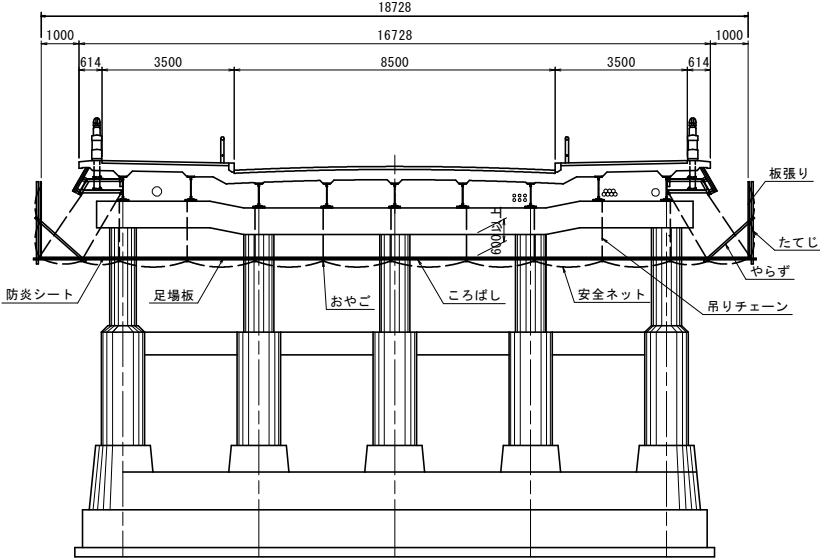
足場工数量表

種別	細別	単位	数 量	備 考
足場工	作業用吊足場	m2	436.6	橋脚周り吊足場（タイプF）、全面板張・シート張防護
	通路用吊足場	m2	44.5	
	昇降設備	m	2.8	タイプK
	吊足場供用期間	箇月	7.0	212日

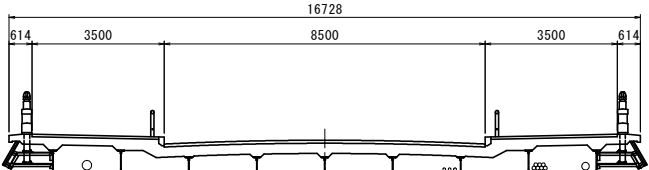
橋脚部側面図 S=1:100



作業用吊足場正面図

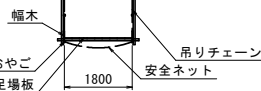


通路用吊足場正面図



注) 資座拡幅工の支保工材や鉄筋を橋面から吊り下げて吊足場内に搬入する必要があるため、作業用吊足場の板張りは取り外し可能な構造とすること。

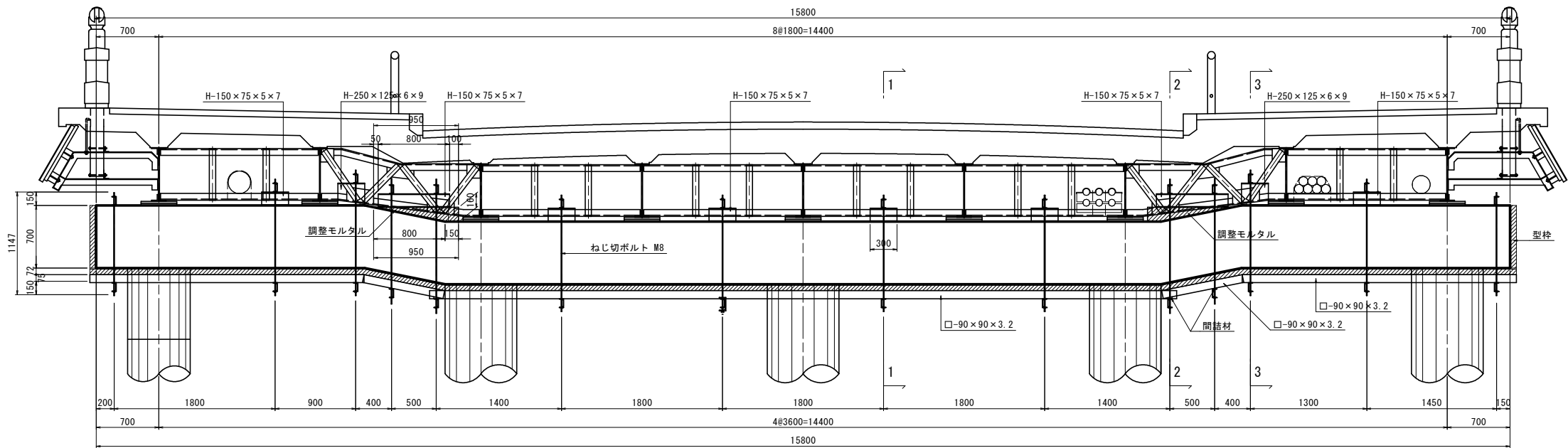
注) P6橋脚～P7橋脚間にある通路橋においては、昇降設備設置に伴う通行止めを実施してはならない。



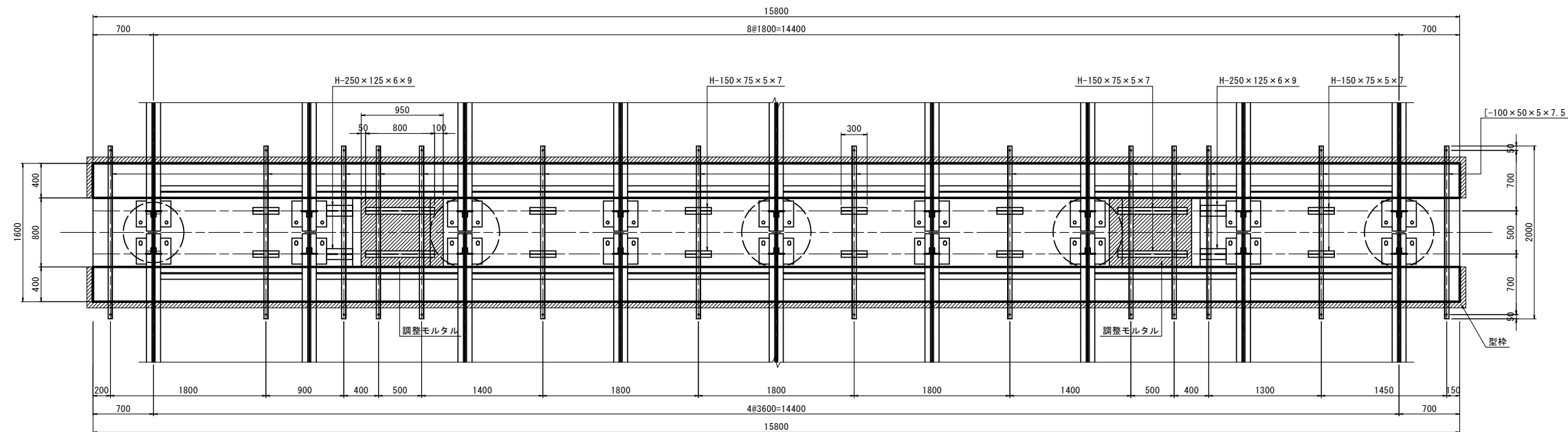
工 事 名	(総合評価) 三条大橋補修工事（その5）
工事場所	京都市東山区大橋町他地内
図面名	<参考図> 三条大橋 足場工図
事業年度	令和8年度
縮 尺	図 示
図面番号	16 / 17
京都市建設局土木管理部機りよう健全推進課	

<参考図> 三条大橋 沓座拡幅支保工図

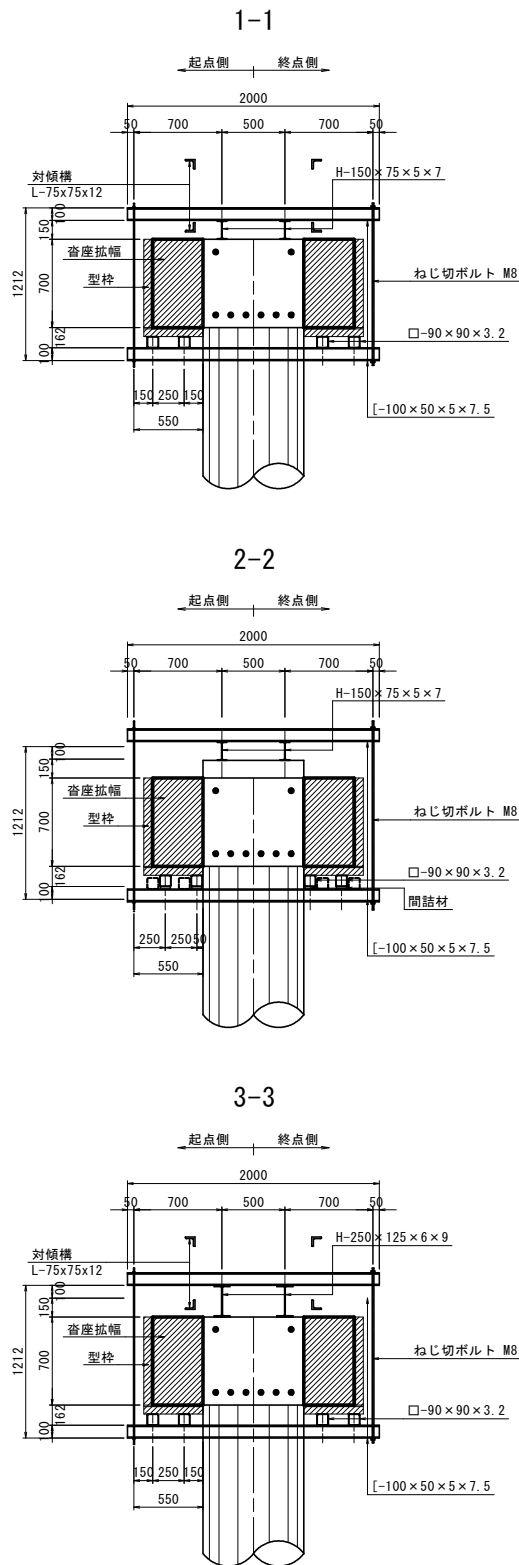
正面図



梁平面図 (2-2)



断面図



工 事 名 (総合評価) 三条大橋補修工事 (その5)

工事場所 京都市東山区大橋町他地内

図面名 <参考図>三条大橋 沓座拡幅支保工図

事業年度 令和8年度

縮 尺 図 示 図面番号 17 / 17

京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課